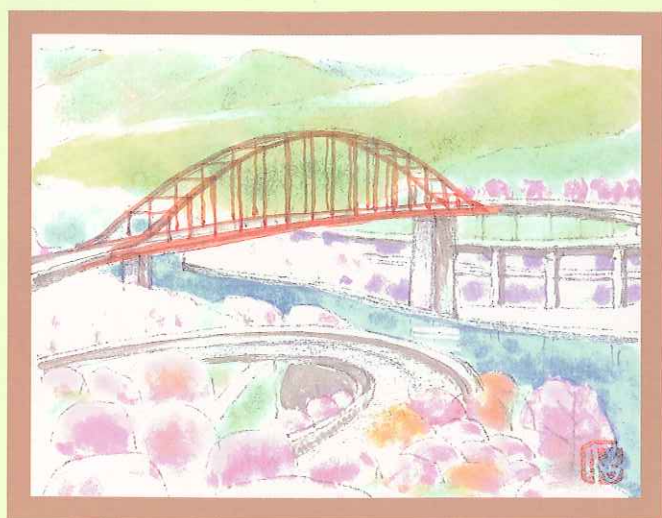


# 広島県文化団体連合会 創立30周年記念誌



春（音戸の瀬戸）



夏（鞆の浦）



秋（宮島）

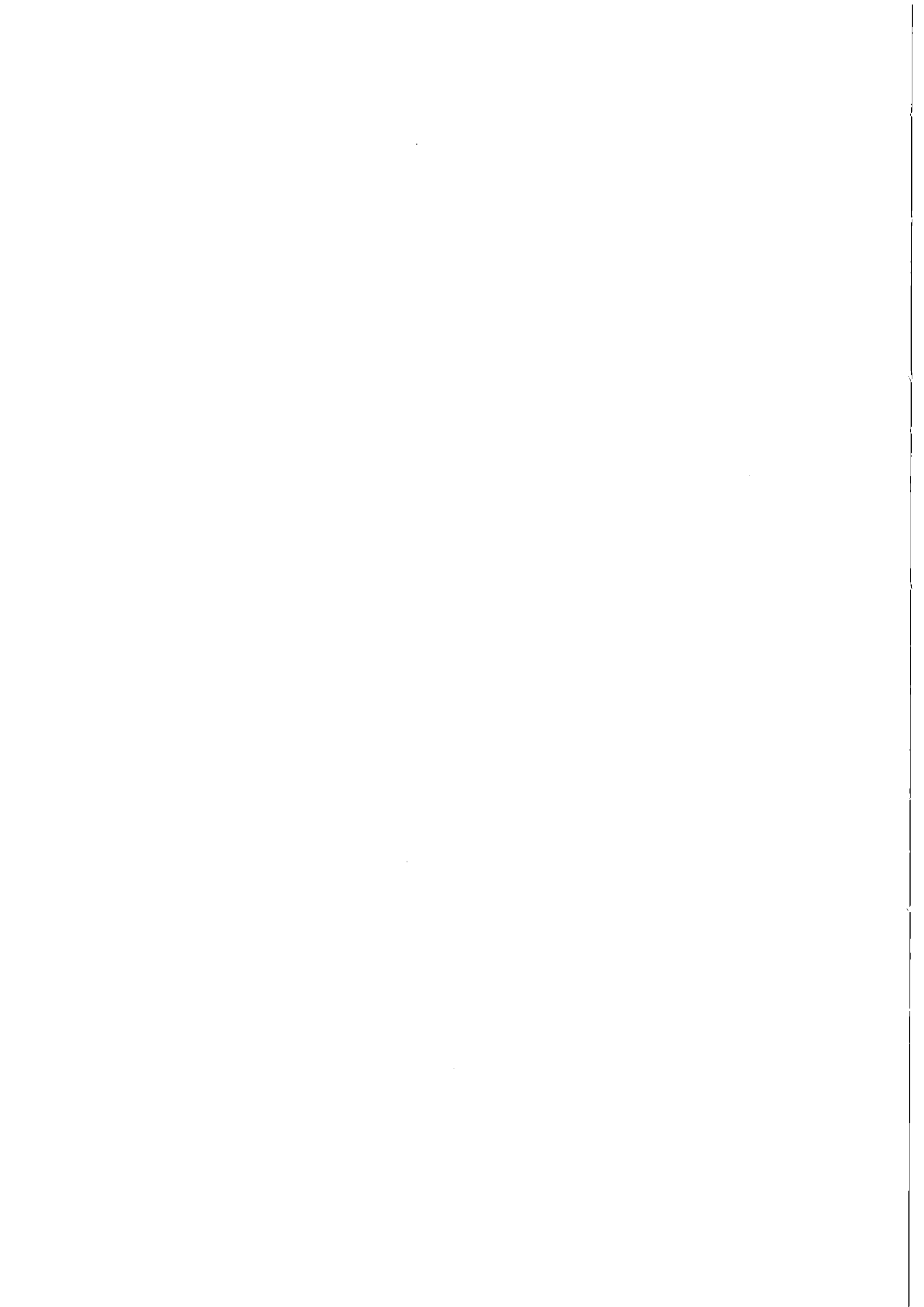


冬（帝釈峡）

ひろしまの文化 第28・29号

広島県文化団体連合会  
創立30周年記念誌

ひろしまの文化 第28・29号



ごあいさつ

～広島県文連 30 周年を迎えて～

広島県文化団体連合会  
会長 槇坪 一 誠



今から 30 年前の昭和 56 年に仁井岡武司氏（広島県文化団体連合会初代会長）を中心とし、広島県全域の文化振興の重要性を感じた県内 27 市町の文化団体連合会代表者の方々のご尽力により、広島県文化団体連合会（県文連）が結成されました。

そして、歴代の会長、役員、会員団体長の皆様のたゆまぬ努力により、様々な文化事業や文化活動を積極的に展開しながら発展を続け、平成 14 年には県内 80 市町の文化団体の連合会が加入するまでになりました。その後、平成 16 年からの市町村合併により、現在は県内の全 23 市町、23 の文化団体連合会による構成となりました。この 23 連合会団体傘下の文化団体の総数は 2,000 団体を超え、広島県文連は国内でも有数の文化団体組織となっております。ここに至るまでの広島県を始めとする行政機関や文化関係の多くの皆様のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

今回の創立 30 周年に当たり、県文連としては初めてのことでありますが、記念誌を発行するとともに、記念文化講演会、記念式典・祝賀会を開催することと致しました。

企業や組織体というものは 30 年をひと区切りとして、その後も存続・発展するか、衰退・消滅するかのどちらかになるとの説がありますが、私どもの県文連はその大きな節目の年を迎えたわけでございます。

折しも、3月11日に起きた東日本大震災は地震と津波により 3 万人近くにも及ぶ死者・行方不明者を出し、福島原子力発電所の大事故をも誘発しました。その被害は甚大で、我が国における未曾有の大惨事であり、世界史にも残る大災害となりました。

この国難とも云うべき状況のもとで、肉親も家も何もかも一瞬にして失った被災者の方が次のように述べておられました。「生きる気力も失い途方にくれている時、電気も水道も無い中、携帯ラジオから流れてきた『トゥモロー』という曲……“涙の数だけ強くなれるよ、明日は来るよ 君のために……”を聞いたり、避難場所の体育館のステージに飾られたお見舞いの花をながめたりしていると、心が安らぎ、悲しさも薄らぎ、もう一度頑張ろうという気持ちになった。」と。

このような時にこそ、人々の心を癒し和らげ、希望をもって生きていこうという力を与えてくれる“文化”の意義が再認識されるわけでございます。

私ども県文連は、これからも人々の幸せな暮らしに繋がる“文化”の更なる振興・発展に努め、広島県がより住みやすい、心ゆたかな活力ある地域となるよう努めて参ります。今後とも皆様のご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

# 創立30周年を祝して

広島県知事  
湯崎英彦



広島県文化団体連合会が、ここに創立30周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

広島県文化団体連合会におかれましては、昭和56年2月の創立以来、県内文化団体相互の連絡協調を図られながら、行政機関との連絡を密にして、長年にわたり本県の地域文化の振興に多大なる御貢献をいただいております。

歴代の会長をはじめ、長年活動に携わってこられた関係の皆様への御尽力に対し、深く敬意を表する次第でございます。

広島県文化団体連合会は、昭和55年2月に呉市文化団体連合会会長をはじめ、県内各地域の有志の皆様と広島県教育委員会により準備委員会を立ち上げられ、翌昭和56年に当時県内86市町村にあった文化団体のうち27団体の加入により発足し、以後、平成の大合併を経て現在の加入団体は23団体となっております。

この間、文化団体相互の連絡協調、文化に関する情報の収集とその提供、けんみん文化祭ひろしまへの共催、文化の振興普及に関する講演会・シンポジウムなどの開催、講習会や研修会の開催などによる指導者の育成及び講師の派遣等、地域に密着した幅広い文化事業を推進され、本県の文化・芸術振興施策に積極的に取り組んでいただいているところでございます。

30年の歴史を振り返りますと様々な取り組みがございますが、中でも特筆すべきは、平成12年に本県で開催いたしました「第15回国民文化祭・ひろしま2000」であります。

「広がる生命（いのち）輝く未来」をメインテーマとしたこの国民文化祭は、広島県文化団体連合会をはじめ、市町村、ボランティア等の協力を得て、3万人の出演者と150万人の参加者により、大成功のうちに終了いたしました。広島から全国に向け、多彩な文化・芸術を発信することができ、その後の本県の文化活動の活性化に大きな効果をもたらすことができましたのも、貴連合会の多大な御尽力のお陰であると深く感謝しております。

御承知のとおり、現在、我が国は、政治・経済をはじめ社会の様々な分野において、大きな転換期にあり、文化活動をとりまく環境も大きく変化してまいりました。物質的な豊かさの達成とともに価値観の多様化が進む一方、人々は、少子高齢化や人口減少による社会全体の活力低下など将来に対する不安の中で、豊かで潤いと安らぎのある生活をより一層求めております。

こうした「先行き不透明な時代」において、とりわけ「物の豊かさから心の豊かさへ」という人々の志向の変化を背景とする中、活力ある社会を形成していくためには、「文化」の果たす役割は非常に重要であり、固有の歴史と風土に育まれてきた地域文化や、県民参加の文化活動は、住民同士の絆や郷土への誇りと愛着を深め、個性豊かな地域づくりを担うものとして、その役割が大きく期待されているところでございます。

広島県文化団体連合会におかれましては、創立30周年を契機に、県内の文化・芸術振興を推進する魅力ある組織としてなお一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、広島県文化団体連合会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念しまして、お祝いのことばといたします。

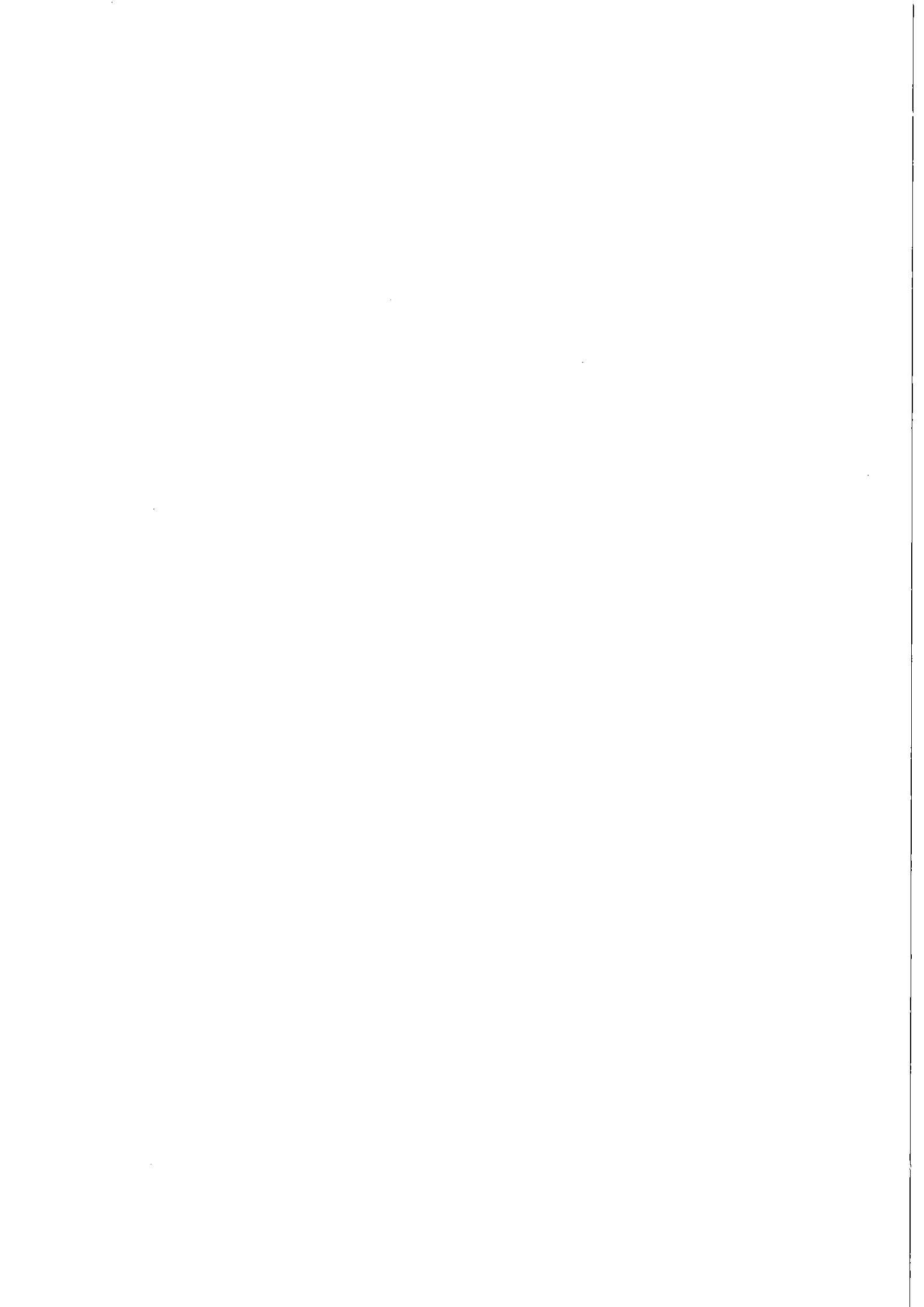
## ■もくじ

ごあいさつ 広島県文化団体連合会会長 槇坪一誠  
創立 30 周年を祝して 広島県知事 湯崎英彦

創立 30 年のあゆみ	
設立の目的	2
あゆみ	2
事業の内容	3
歴代役員	5
功労者紹介	6
加盟団体の紹介	
大竹市文化協会	8
廿日市市文化協会	9
湯来町文化連盟	10
呉市文化団体連合会	11
あきふちゅう文化協会	13
海田町民文化振興会	14
熊野町文化団体連絡協議会	15
坂町文化協会	16
江田島市文化協会	17
東広島市文化連盟	18
安芸太田町文化団体連合会	20
北広島町文化団体連合会	21
安芸高田市文化団体連合会	22
竹原市文化団体連盟	23
三原市文化協会	24
尾道市文化協会	25
大崎上島町文化協会	26
世羅町文化協会	27
福山文化連盟	28
府中文化連盟	30
神石高原町文化連盟	31
三次市文化連盟	32
庄原市文化協会	33
平成 22 年度事業紹介	35
■けんみん文化祭ひろしま開催状況	40
■広島文化賞の紹介	42
■広島県地域文化功労者表彰の紹介	43
■広島県文化団体連合会構成団体一覧表・役員一覧	44

### 【表紙の説明】

絵：『広島県の四季』 作：城 信彦  
題字：(故) 仁井岡武司初代会長の揮毫



# 創立30年のあゆみ

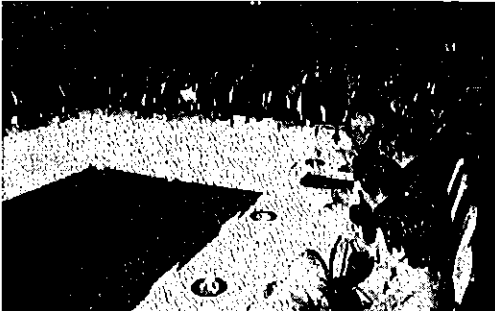
---



## 設立の目的

県内文化団体相互の連絡協調を図るとともに、行政機関との連絡を密にして、地域文化の振興に寄与することを目的としています。

## あゆみ

昭和 56 年 2 月 20 日	広島県文化団体連合会設立 総会を新八丁堀会館で開催 加入団体 27 団体が参加し、 会長に「呉市文化団体連合 会」の仁井岡武司氏が就任	
6 月 27 日	機関誌「ひろしまの文化」 創刊号発行	結成総会
昭和 56 年 11 月	加入団体数 33 団体	
昭和 57 年 9 月	「第 1 回小論文」の募集	
昭和 57 年 11 月	加入団体数 41 団体	
昭和 59 年 4 月	加入団体数 55 団体	
昭和 60 年 4 月	加入団体数 56 団体	
昭和 61 年 5 月	加入団体数 58 団体	
昭和 61 年 11 月	仁井岡武司会長が地域文化功労者表彰を文部大臣より受賞	
昭和 62 年 4 月	加入団体数 60 団体	
平成 63 年 6 月	加入団体数 63 団体	
平成 元年 5 月	加入団体数 65 団体	
平成 3 年 2 月	創立 10 周年 加入団体数 66 団体	
9 月 6 日	創立 10 周年を記念して「第 1 回県民文化祭」を開催 (9 月 29 日まで) (会場 広島県民文化センターほか)	
平成 5 年 5 月 19 日	会長に「おおの文化協会」の谷口芳松氏が就任 加入団体数 70 団体	
平成 7 年 3 月	広島県文化団体連合会文芸大会 (川柳、俳句) を開催	
6 月 14 日	会長に「庄原市文化協会」の国利義勇氏が就任 「第 15 回国民文化祭・ひろしま 2000」の開催に関する決議 加入団体数 75 団体	
平成 9 年 1 月	片山辰之輔理事が広島県地域文化功労者表彰を受賞	
平成 11 年 10 月	「プレ国民文化祭・第 9 回県民文化祭」の開催 (会場 広島厚生年金会館ほか)	

平成 12 年 11 月

「第 15 回国民文化祭・ひろしま 2000」の共催



平成 12 年 理事会(広島 YMCA ホール)

平成 13 年 2 月

国利義勇会長が広島県地域文化功労者表彰を受賞

創立 20 周年 加入団体数 78 団体

6 月 21 日

会長に「福山文化連盟」の平井隆夫氏が就任

平成 14 年 6 月

加入団体数 80 団体

平成 15 年 5 月

加入団体数 77 団体 (合併による)

平成 16 年度末

加入団体数 40 団体 ( // )

平成 17 年 6 月

加入団体数 28 団体 ( // )

平成 17 年度末

加入団体数 27 団体 ( // )

平成 18 年 4 月

事務局を「(財)ひろしま文化振興財団」に移管

平成 18 年 6 月

加入団体数 23 団体 (合併による)

平成 20 年 6 月 12 日

会長に「呉市文化団体連合会」の槇坪一誠氏が就任

平成 23 年 2 月

創立 30 周年

継続して、けんみん文化祭ひろしまの開催(主催・共催)、文化講演会の開催、講師招へい事業の助成、「ひろしまの文化」の発行を行っています。小論文は第9回まで募集・表彰を行いました。



第11号 広島県文化団体連合会

平成 6 年 3 月発行  
表紙 藤井軍三郎元副会長

## 事業の内容

- 文化団体相互の連絡協調
- 文化講演会の実施
- 文化研究会等講師招へい事業
- けんみん文化祭の共催、運営協力
- 各種文化行事の共催または後援
- 機関誌「ひろしまの文化」刊行



平成 17 年度講師招へい事業(三次市文化連盟 第 2 回みよし文化祭 俳句大会)

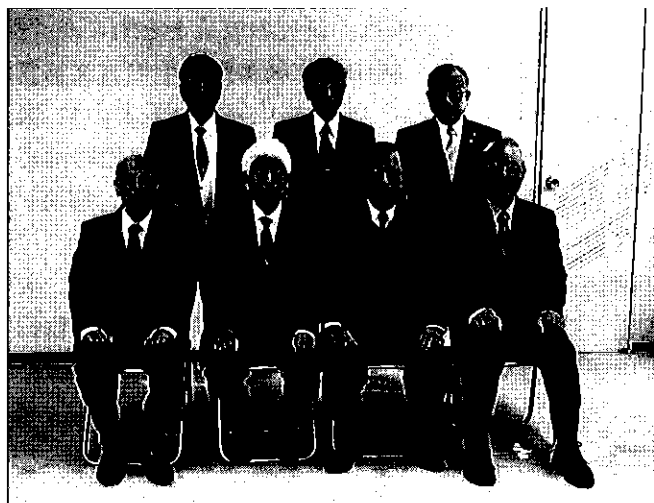
◆文化講演会の開催状況

回次	開催日	開催場所	演 題	講 師
第 1 回	昭和56年10月7日(水)	浄土寺研修道場	環境と文化	木原啓吉(千葉大学教授)
第 2 回	昭和57年11月17日(水)	吉田町中央公民館	環境と地域文化	荒木博之(広島大学総合科学部教授)
第 3 回	昭和58年11月10日(木)	大野町体育館	だれもバラバラの世界から微笑みの共有の世界へ	切明悟(教育評論家)
第 4 回	昭和59年11月14日(水)	(双)三和町山村開発センター	高齢化社会と文化～高齢者の役割～	岡東寿隆(広島大学助教授)
第 5 回	昭和60年11月8日(金)	三原リージョンプラザ	国際化時代における地域文化の役割	平田嘉三(広島大学教育学部教授)
第 6 回	昭和61年11月20日(木)	熊野町民会館	親子で創ろう家庭の文化	森楸(広島大学教育学部教授)
第 7 回	昭和62年11月20日(水)	東城町老人福祉センター	暮らしの中の詩とメルヘン	やなせたかし
第 8 回	昭和63年11月5日(土)	加計町民体育館	不思議な国・日本～その文化とコミュニティ～	ハルベン・ジャック(昭和女子大近代文化研究所講師)
第 9 回	平成元年10月27日(金)	宮島観光会館	わたしの野球人生	衣笠祥雄(野球評論家)
第10回	平成3年3月22日(金)	本郷町中央公民館	外国人から見た日本人—おもしろ英会話と日本文化	アントン・ウィッキー(タレント・農学博士)
第11回	平成4年3月16日(月)	安浦中学校校体育館	自然と生活文化	若林正人(ニュースステーションリポーター)
第12回	平成5年3月19日(金)	向中学校体育館	歌手生活50年～日本の心いつまでも～	川田正子(森の木児童合唱団主宰)
第13回	平成6年1月29日(土)	三次市文化会館	地域とそのふれあい	金子辰雄(元NHKアナウンサー)
第14回	平成7年3月21日(祝)	世羅西町商工会館	私の米づくりと文化活動	山下惣一(日本農民文学館会員)
第15回	平成8年3月16日(土)	府中市文化センター	耐えて勝つ	古葉竹識(野球評論家)
第16回	平成9年3月20日(祝)	ゾミア・カーター・ビックセンター	中山間地域と文化について	岩谷三四郎(広島県立大学教授)
第17回	平成9年9月28日(日)	三原リージョンプラザ	異文化を超えて	小川久志(RCCアナウンサー)
第18回	平成10年12月1日(火)	三良坂町中央公民館	まちづくりのカギは文化一人と人とのむすびつきー	木津川計(立命館大学教授)
第19回	平成12年2月26日(土)	府中市文化センター	八方のちよとしたおはなし	月亭八方(落語家)
第20回	平成13年2月24日(土)	甲田町若者定住センター・ミュージアム	歌うこと、演じること、そして生きること	倍賞千恵子(女優)
第21回	平成13年11月17日(土)	しまなみ交流館	200枚のスライド映写による河童が語る舞台裏おもて	妹尾河童(舞台美術家・エッセイスト)
第22回	平成14年10月26日(土)	川・森・文化・交流センター	あしたの太鼓打ちへ	林 英哲(和太鼓ソリスト)
第23回	平成15年11月24日(月) ※振替休日	三次市文化会館	わが国文芸の未来～地域から創造、発信する文化・芸術の果たす役割～	瀬戸内寂聴(作家)
第24回	平成16年12月4日(土)	東広島市中央公民館	アメリカ人と日本人～笑撃的日米文化論～	パツクンマックン(お笑いタレント)
第25回	平成18年3月18日(土)	ふくやま芸術文化ホール・リーデンローズ	日本の文化を作った江戸時代の仕組みと心	徳川恒孝(徳川家十八代宗家当主・徳川記念財団理事長)
第26回	平成18年12月9日(土)	熊野町民会館	盲導犬グレースとともに～夢見る力を信じて～お話とピアノ弾き語り	今井敏代、前川裕美
第27回	平成20年2月16日(土)	安芸高田市民文化センター	佐賀のがばいばあちゃん	島田洋七(漫才師)

回次	開催日	開催場所	演題	講師
第28回	平成20年12月4日(木)	せら文化センター	ほんとうの豊かさとは	大野勝彦(風の丘阿蘇大野勝彦美術館館長)
	平成21年3月1日(日)	ふくやま芸術文化ホール リーディングローズ	華道 花のこころ	池坊由紀((財)いけばな芸術協会副会長)
第29回	平成21年11月14日(土)	呉市文化ホール	雅楽 日本の心	東儀秀樹(雅楽師)
第30回	平成22年11月28日(日)	庄原市民会館	私の取材ノート「その時歴史は動いた」の現場から	松平定知(NHKキャスター)

## 歴代役員

職名	氏名	出身団体	期間
顧問	谷口 芳松	おおの文化協会	H 7年度～現在に至る
	国利 義勇	庄原市文化協会	H 13年度～H 21年度
	平井 隆夫	福山文化連盟	H 20年度～現在に至る
会長	仁井岡武司	呉市文化団体連合会	S 56年度～H 4年度
	谷口 芳松	おおの文化協会	H 5年度～H 6年度
	国利 義勇	庄原市文化協会	H 7年度～H 12年度
	平井 隆夫	福山文化連盟	H 13年度～H 19年度
	楨坪 一誠	呉市文化団体連合会	H 20年度～現在に至る
副会長	荒木 計三	福山文化連盟	S 56年度～H 2年度
	尾崎平八郎	三次文化連盟	S 56年度～S 57年度
	谷口 芳松	おおの文化協会	S 56年度～H 4年度
	国利 義勇	庄原市文化協会	S 58年度～H 6年度
	藤井軍三郎	福山文化連盟	H 3年度～H 9年度
	西谷 宏	東広島市文化協会	H 5年度～H 19年度
	阿川 静明	三次文化連盟	H 7年度～H 12年度
	稲葉 勘一	福山文化連盟	H 10年度～H 11年度
	平井 隆夫	福山文化連盟	H 12年度
	大年 暹	宮島町文化協会	H 13年度
	山田 羊三	三次市文化連盟	H 13年度～H 18年度
	楨坪 一誠	呉市文化団体連合会	H 17年度～H 19年度
	山脇 和之	庄原市文化協会	H 19年度
	重本 繁行	廿日市市文化協会	H 20年度～現在に至る
	池本 旭	庄原市文化協会	H 21年度～現在に至る



土本監事 吉村幹事 武則監事  
土肥幹事 重本副会長 楨坪会長 池本副会長  
平成22年度役員(撮影H22.11.24)

## 功勞者紹介

創立 30 周年を迎えたことから、これまで当連合会の発展にご尽力いただいた方の功勞者表彰を行うことになりました。役員会での協議の結果、次の方に決定いたしました。



たにぐち よしまつ  
谷口 芳松氏

谷口芳松さんは明治 41 年生まれの 104 歳です。38 歳の若さで小学校の校長先生になられ、当時話題になったそうです。定年後 大野町中央公民館の初代館長に就任されました。学校教育から社会教育への転換をされましたが、そこは教育の専門家、社会教育でも次々と新企画を実践されました。特に当時の公民館の活動には確立した方式はなく、貸し館的な状態のところが多くありました。谷口さんは公民館活動 3 階論（集い、学び、情報発信）というのを発表されると同時に大野町で実践。これに共鳴した若者が谷口さんを師と仰ぎ、集まるようになりました。この人たちは「私たちは谷口門下生」を自負しておられました。

その方々ももう 80 歳前後です、谷口門下生が集まって昭和 55 年「おおの文化協会」が設立され、当然谷口さんが初代会長に就任されました。それから 1 年後、県の呼びかけで県内の文化団体を一堂に集め、連合会を作ろうという話が持ち上がりしました。谷口さんはその準備に携わられ、文化団体連合会の発足に漕ぎつけられました。会長は呉の仁井岡会長、副会長に谷口さんが就任。後に県文化団体連合会会長を平成 5 年から 6 年まで務められました。それ以後県と町の文化振興に寄与されました。平成 8 年おおの文化協会長を退任されて顧問として後輩の指導に当たられました。現在は自宅で子どもたちと満ち足りた毎日を送っておられます。

（文責 廿日市市文化協会 杉山義彦）



ひらい たかお  
平井 隆夫氏

福山市において、第二次世界大戦後いち早く郷土史研究や、文化財保護活動に携わり、昭和 36 年福山市文化財協会が設立されると、理事としてその高い見識と意欲的な活動は、研究の成果とともに高く評価されています。

昭和 43 年からは、福山市立図書館主催の古文書講座の講師として、多くの解説者を養成し、昭和 49 年福山城博物館友の会 会長に就任を機に、この読者らとともに博物館所蔵の古文書に取り組み、福山市重要文化財指定『小場家門書』上下巻の刊行をはじめ、現在まで古文書調査記録集を第 22 集まで発行し、解説・監修者としてその功績は大であります。

昭和 46 年から 31 年間福山市文化財保護審議会委員（副会長 4 年、会長 8 年）をつとめ、著書に『福山開組水野勝成』（新人往来社）、『おもしろふくやま史』（博物館友の会）などのほか、多数の論文、機関誌への寄稿があり郷土史研究に大いに貢献しておられます。

福山文化連盟にあつては、平成 4 年副会長として文化団体の育成に努め、平成 12 年会長に就任、加盟 220 団体を統轄し福山地方の文化振興の中心として活躍、平成 13 年には広島県文化団体連合会会長に就任され、平成 20 年に退任されるまで、けんみん文化祭など広島県の文化振興に功がありました。

表彰歴としては、昭和 55 年福山市善行市民賞、昭和 56 年広島県文化財協会表彰、平成 4 年広島文化賞を受賞されています。

# 加盟団体の紹介

---

# 大竹市文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 村中 勝榮

- 【会 長】 村中 勝榮
- 【所 在 地】 〒739-0653 大竹市黒川 3 丁目 4-14
- 【連 絡 先】 TEL:0827-57-4625 FAX:0827-57-4625
- 【加盟団体数・加盟人数等】 20 団体(1,500 人)
- 【設 立】 昭和 42(1967)年 6 月

## 【活動の紹介】

広島県の西の玄関大竹市、文化と産業の街です。大竹市文化協会の歴史は古く昭和 42 年 6 月に設立され、「文芸部門」「音楽・演劇部門」「美術部門」「茶道・華道部門」の 4 部門 12 団体で発足しました。

長い歴史の中、紆余曲折を経て、現在の加盟団体は 20 団体となり、文化協会の「部」として組織化され、会員も約 1,500 名を数え益々発展しています。

文化協会の主要な事業は、協会独自の事業と、行政その他の団体との共催による各種行事があります。

## 【機関誌「文協おおたけ」の発行】

年 1 回 4 月に発行しています。年間行事報告、行事計画、各部の PR を兼ねた活動状況の紹介、絵画、書、写真、短歌、俳句、川柳など掲載し好評です。

昭和 52 年創刊以来、第 33 号まで発行しています。

## 【ふれあい研修旅行】

会員の研修と会員相互の親睦を図ることを目的に、名所、旧跡を巡る日帰りバス旅行で、毎回参加者も多く、大変しみな行事となっています。

## 【文化講演会】

会員の教養の向上を目的に各部の希望を聞き、多方面から講師を選定して開催しています。広島県文化団体連合会からの講師招へい費による一部補助事業です。

## 【文化祭】

11 月 3 日の文化の日を中心に、全 20 部が参加して、美術展、工芸展、華展、盆栽展、茶会、短歌大会、俳句大会、川柳大会、芸能の祭典等を開催します。出展数、出演数、観客数とも年々増加し、全市的一大イベントです。大竹市・大竹市教育委員会からの委託事業で文化協会が主管して開催しています。

毎年、功労者に文化祭功労賞、優秀作品に市長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会会長賞、奨励賞等が授与されています。

## 【新春児童生徒書初め大会】

小学生は、毛筆又は硬筆、中、高校生は毛筆、市内外から参加者が多く盛会です。優秀作品に、市長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会会長賞他多くの賞が授与されます。大竹市教育委員会と大竹市文化協会の共催事業です。

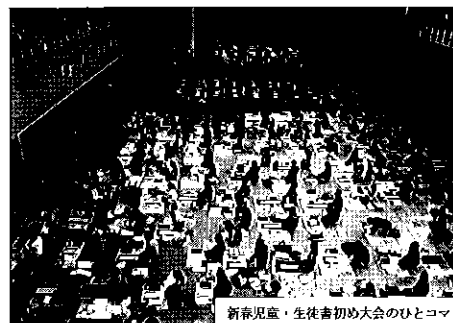
大竹市は、文化の香り高い町づくりを目指しています。大竹市文化協会が大竹市の文化の発信拠点として、その役割を担えるよう会員一同日々精進努力しています。



岡山下津井の造町、北前船の歴史探訪と  
見島で祭えた塩田大高養野崎家旧宅前（1号車の皆さん）



文化祭 芸能の祭典 コーラス部の皆さん



新春児童・生徒書初め大会のひとコマ

# 廿日市市文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 重本 繁行

【会 長】 重本 繁行

【所 在 地】 〒738-0014 廿日市市住吉 2 丁目 2-16

廿日市市市民活動センター内

【連 絡 先】 TEL:0829-31-4311 FAX:0829-31-4312

【加盟団体数・加盟人数等】 83 団体(1,900 人)

【設 立】 昭和 62(1987)年 4 月

## 【活動の紹介】

廿日市市文化協会は、廿日市市、吉和村、佐伯町、宮島町、大野町との合併に伴いそれぞれの文化協会も合併し、今年で 5 年になります。

現在各地域の文化協会は、吉和支部、佐伯支部、大野支部、宮島を含む廿日市支部と支部制をとり、その会員数は約 1,900 人です。

合併以前から各支部は、地域に密着した活動をしていました。吉和は学校と連携しての各種文化行事、佐伯は婦人会、敬老会などと連携しての催し、大野は多彩な個人会員と団体会員を包含した活動、宮島は長い歴史と伝統的な文化の継承も含めた活動、廿日市は歴史を振り返り、あわせて今の生活時間にも活かす活動・・・などです。

この 5 年間、文化協会全体として気をつけてきたことは、それまでの地域での活動が合併により失われてしまわないよう、これまで以上に各地域の文化活動が活発になり、全体としてお互いの活動を知り、応援し合っていくということです。

そのため、まず会員それぞれが、広い視野をもって自分の住んでいる地域の長所を見つめなおし、ヒト、モノ、コトなどの宝物を掘り起こして磨き、そこに新しい魅力をつけ加えて育てていく、地域に密着した活動をしていきたいと考えております。

廿日市市文化協会のモットーは、“和やかな笑い”と“笑顔”です。自分たちが“笑顔”で活動し、見てくださるまわりの方々も“笑顔”になってもらいたいと思っています。

「“文化”は多くの喜びが詰まった種。喜びの種を蒔いて、まちいっぱい“笑顔”の花を咲かせよう！」と、文化の力で廿日市市が暮らして楽しいまちになることを目指して活動しています。





# 湯来町文化連盟

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 新川 日出男

【会 長】 新川 日出男  
【所 在 地】 〒738-0601 広島市佐伯区湯来町和田 515  
事務局 国沢紀代子方  
【連 絡 先】 TEL/FAX:0829-83-0146  
【加盟団体数・加盟人数等】 19 団体(123 人)  
【設 立】 昭和 55(1980)年

## 【活動の紹介】

湯来町文化連盟は、旧3ヶ村(上水内、水内、砂谷)単位で活動していましたが、昭和55年に各地区毎に公民館が整備されたことを契機に新たな団体としてスタートしました。

当初は、神楽団も多数あり加盟団体も多く人数も 300 人位いましたが、神楽部会とカラオケ部会(一部)はそれぞれで活動をするようになり、団体数もかなり減少してきました。

平成 17 年の広島市との合併により練習施設の有料化など問題点は多々ありますが、できるかぎり自分達の手で幅広く活動をするために練習を重ね、敬老会や老人ホームへの慰問、デイサービス等のボランティア活動に取り組むほか、「春の芸能まつり」の開催や「けんみん文化祭」への参加により会員間の親睦を深める努力もしています。

最近、当連盟も会員の高齢化が進んで参りましたが、会員同士が趣味を持ち続け、楽しく元気で活動できるように「みんな頑張ろうね！」を合い言葉に活動を続けていきたいと思っています。



## 【部会構成】

大正琴	ささゆり会	ホテル会	さざんか		
琴	芙月会華の会				
詩吟・民謡	あけぼの吟詠会	竹の子会	吟道白鷗会	あけぼの吟詠詩舞	稲穂会
太鼓	いいとも会	友愛	湯来凜凜太鼓		
カラオケ	白鷺歌楽互惠同好会	カラオケあじさいの家			
踊り	あきの会	あやめ会	美良会	さくら会	南公民館民謡グループ

# 呉市文化団体連合会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 榎坪 一誠

【会 長】榎坪 一誠

【所 在 地】〒737-8509 呉市中央 6 丁目 2-9 つばき会館  
教育委員会文化振興課文化係内

【連 絡 先】TEL:0823-25-3462 FAX:0823-24-9807

【加盟団体数・加盟人数等】205 団体(15,000 人)

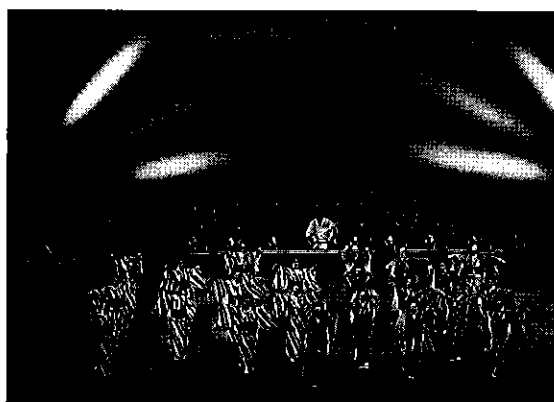
【設 立】昭和 24(1949)年 8 月 17 日

## 【活動の紹介】

呉市文化団体連合会は、戦後の混乱期の昭和 24 年に、逆境の中でも明日への希望を与えてくれる文化の重要性を感じた先人のご尽力により、「呉市内の文化団体相互の親睦と各種文化行事の振興を図り、呉市の文化発展に寄与する」ことを目的に、20 団体で発足しました。

その後、歴代の役員・会員のたゆまぬ努力により、加盟団体は年々増加し、現在 22 部門 200 を超える団体が加盟する県内でも有数の文化団体組織へと成長してきました。

毎年行っている「呉市 春・秋の文化祭」では各団体が相互に連携・協力し合いながら、春秋合わせて 30 近くのバラエティーに富んだ行事を開催し、日頃の文化活動の成果を発表する場として、また市民の方々がより豊かな文化に親しむ機会として、多くの皆さんに楽しんでいただいています。



秋の文化祭



地下道ミニギャラリー

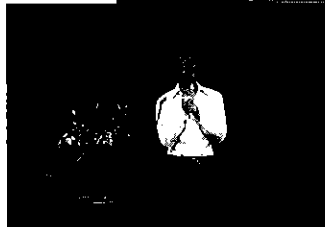
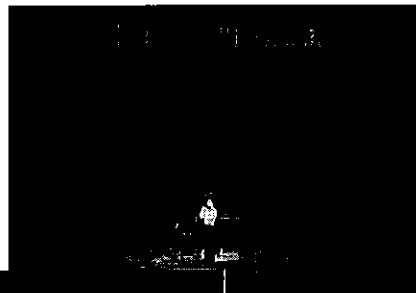
また、呉駅前の地下道にあるミニギャラリーには、毎月「書」「写真」「工芸」等の美術作品や「短歌」「俳句」等の文芸作品などを掲示し、行き交う人々に潤いを与えています。

邦楽や雅楽、和太鼓等の団体では、市内の小学校や中学校にも出向いて、自分たちの得意分野を指導しながら、子どもたちが文化芸術に接する機会の充実も図ってきました。私たちは、このような活動を通して、市民に文化・芸術により親んでもらったり、その振興を図ったりしています。

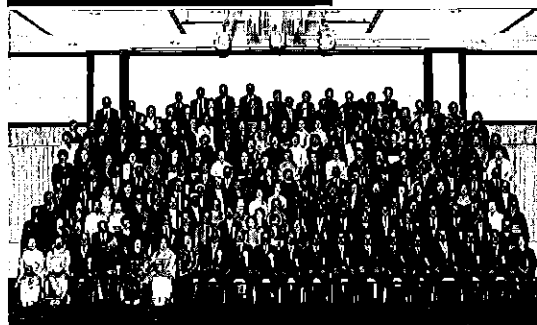
昭和 61 年から開催されている国民文化祭にも、毎年のように出場しています。そして、第 15 回国民文化祭ひろしま2000 では、「いけばな展」「合唱の祭典」「バレエ・モダンダンス」の 3 部門を呉文連が中心となり、呉市を会場として開催しました。

平成 21 年度には呉文連創立 60 周年を迎え、記念誌の発行や、記念式典・祝賀会を開催したほか、「東儀秀樹の演奏・講演会」を始めとした数多くの記念事業を実施し、参加 120 団体(約 3,000 名)、来場者 18,000 名を数える等、大変盛大に行うことができました。

平成 22 年度には、昭和 51 年以来 34 回開催してきた「総合展」のノウハウを生かして、けんみん文化祭としては初めての展示部門「<sup>華</sup>・<sup>花</sup>フェスティバル」を「総合展」とともに 3 日間同時開催しました。出展者数は約 1,100 名、最終日が雨天であったにもかかわらず 3 日間の入場者数は 9,833 名に達し、「幅広いジャンルの優秀な作品が数多くあり、大変素晴らしかった。」「心が癒された。毎年、ぜひ観に来たい。」などの声が多くの方々から聞かれ、大盛況のうちに終えることができました。



創立 60 周年  
記念東儀秀樹  
演奏・講演会



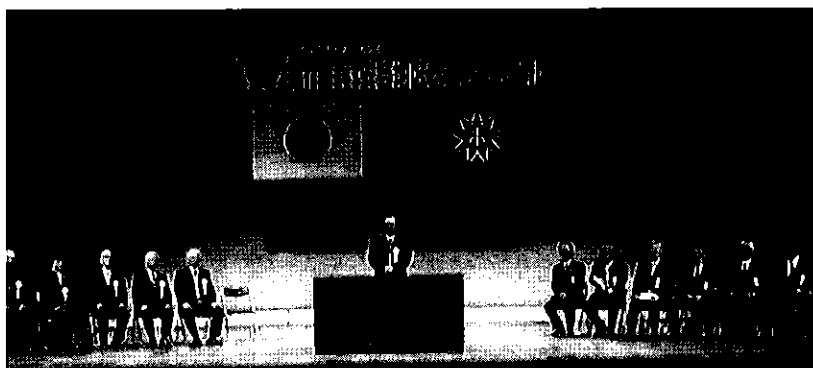
呉市文化団体連合会 創立60周年記念 平成21年11月14日(日) 於 シティプラザ・すずき



華・花フェスティバル

平成 16 年川尻町・下蒲刈町との合併により 8 団体が、平成 17 年には音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊島町との合併により 17 団体が呉文連に新規加入しました。これらの地域では、現在もそれまでの伝統を受け継ぎながら、各地域の文化祭を開催したり、それぞれの地域の特色を生かした様々な文化活動を積極的に行っています。

私ども呉文連は、このような各地域の諸団体とさらに連携・協力を深めながら、これからも人々の心を豊かにし、人々の幸せに繋がる「文化」の更なる振興・発展を願って活動してまいりたいと思っています。そして、より元気で活力のある呉市や広島県となるよう努めてまいります。



平成 18 年 2 月 呉・安芸地区フェスティバル

# あきふちゅう文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 久保本 寂

【会 長】久保本 寂  
【所 在 地】〒735-0006 安芸郡府中町本町 1 丁目 10-15  
府中町教育委員会事務局社会教育課内  
【連 絡 先】TEL:082-286-3272 FAX:082-286-3298  
【加盟団体数・加盟人数等】32 団体(432 人)  
【設 立】昭和 57(1982)年 7 月 1 日

## 【活動の紹介】

あきふちゅう文化協会は昭和 57 年 7 月 1 日に発足し、近々発足 30 周年を迎えようとしています。協会発足に参加したのは、芸能部 13 団体、美術部 12 団体、文芸部 5 団体と計 30 団体と記録されております。

10 周年の平成 4 年には芸能部 21 団体、美術部 5 団体、文芸部 7 団体の計 33 団体になり、現在は芸能部 26 団体、美術部 3 団体、文芸部 3 団体の計 32 団体となっていますが、美術部、文芸部の減少傾向が気がかりです。

協会発足 10 周年の年には文化ホール建設を希求する町民運動を起こし、文化協会・体育協会へと輪が広がり、運動開始より 15 年の念願が叶い、文化協会発足 25 周年の平成 19 年、『安芸府中生涯学習センターくすのきプラザ』として体育館と文化ホール・図書館を兼ねる、多目的ホールの完成を見るに至りました。

平成 15 年 1 月には創立 20 周年記念行事としての一大イベント『二十年のあゆみ』が編集発行されました。関係各位の献身的なご努力により立派な二十年誌が出来たことは、わが文化協会をどっしりとした存在にさせてくれています。反面、輝かしい歩みにも、会員の高齢化、講師の老齢化が一段と進行し、団体としての存続が困難となり、退会の止むなきに至るケースが続出する傾向にある近年でもあります。

50 歳で始めた人が 30 年継続を前に生涯学習を頓挫しかねない危険水域にある団体が増加しています。若年層に加入を呼びかける運動も、今一步及ばない団体が大多数という現状をいかに打開してゆか、課題山積です。

府中町の課題は近隣市・町のみならず県下といわず、国内全般に共通する課題でもあります。他市町に於ける成功例に学びたいと思っております。

当協会の財政は府中町からの助成金と団体年会費で賄われておりますが、文化協会加入の個人が活動を通じて元気で生涯学習に取り組み、生活を楽しむ事により助成金が効果的に機能していることを証明したいと念じております。



けんみん文化祭ひろしま2005 民謡民舞の祭典 平成17年10月9日 於 三原リージョンプラザ



# 海田町民文化振興会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 吉本 知可

- 【会 長】 吉本 知可  
【所 在 地】 〒736-8601 安芸郡海田町上市 14-18  
海田町教育委員会内  
【連 絡 先】 TEL:082-823-9217 FAX:082-823-9256  
【加盟団体数・加盟人数等】 19 人  
【設 立】 平成 6(1994)年 4 月 21 日

## 【活動の紹介】

海田町民文化振興会(愛称「マール」)は、「豊かな心と温もりのあるまちづくり」と「海田町を日本一の文化のまちに」というスローガンを掲げ、平成 6 年 4 月に設立しました。

「マール」とはスペイン語で《海》を意味する言葉で、海田の「海」でもあり、「スケールが大きく『命の源』でもある」海のイメージから名づけたものです。

この会では、これまで町美術展・文化講演会・文化講座・文化フォーラム・映画会・写生大会など主催し、町の文化振興に努めてきました。

とりわけ、平成 7 年 7 月 7 日に開催した「七夕フェスティバル」(今日では「かいた七夕さん」と名称変更していますが)は、午後 7 時 7 分 7 秒に 777777 でカウントダウンをしたいという会員の一言から生まれたもので、若者の集う場所としての屋外ステージと七夕行事の復活を目的とし、瀬野川河川敷を会場として開催しました。平成 22 年には 16 回目の開催となり、子どもからお年寄りまで約 9 千人が集いました。そして、地域の方々が中心となって実行委員会を結成し運営にあたるなど、地域に根ざした一大文化行事になっています。

平成 18 年に和太鼓文化の伝承と青少年の健全育成を目的に和太鼓教室を開催しましたが、今では「海田鼓童子」という自主団体に成長し、第 24 回国民文化祭・しずおか 2009 に出場するまでになりました。また、平成 19 年からは、近隣の和太鼓グループへも呼びかけ海田総合公園の野外ステージで「海田和太鼓フェスティバル」も開催しています。

なお、海田町民文化振興会は町内の文化団体が集まり組織された会ではありません。「文化によるまちづくり」を熱く想う個人が集まり、立ち上げた会です。自分たちで考え、自分たちで汗を流し、みんなで楽しみ、夢を実現できるよう活動しています。また、町内で文化活動している、またはこれから活動しようと思っている個人や団体の応援ができればと、情報の収集や提供に努めています。

広島県文化団体連合会には、平成 12 年に加盟させていただきました。これからも、住民による文化振興をより盛り上げていくため頑張っていきたいと考えています。



かいた七夕さん



町美展



和太鼓フェスティバル

# 熊野町文化団体連絡協議会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 山野 千佳子

- 【会 長】 山野 千佳子  
【所 在 地】 〒731-4292 安芸郡熊野町中溝 1 丁目1-1  
熊野町教育委員会内  
【連 絡 先】 TEL:082-820-5621 FAX:082-855-1110  
【加盟団体数・加盟人数等】 7 団体  
【設 立】 昭和 60(1985)年 6 月

## 【活動の紹介】

熊野町文化団体連絡協議会は、熊野町の文化の向上を目指し、熊野町民会館の完成を機に昭和 60 年 6 月に設立されました。“町民の手で熊野町に文化活動の普及を”という主旨のもと、文化芸術公演、けんみん文化祭呉・安芸地区フェスティバル、安芸地区文化交流、音楽指導の 4 事業を行っています。

本協議会は町内 7 団体の連絡協議会ですが、将来は文化協会へ移行することが目標です。

### (1)文化芸術公演

町民参加のコンサートの企画・実施を中心に、さまざまな活動を行っています。

町民会館が開館した昭和 60 年頃はホールを利用する団体も少なく、閑古鳥が鳴く状況でしたが、平成に入ってから本協議会が中心となり、文楽・狂言・能楽等の文化芸術公演、著名人の文化講演会、演劇・コンサート等を幅広く開催し、近隣市町の先導的活動を行ってまいりました。

これらの活動は本町の文化活動を活性化し、現在では多くの文化団体が事業を展開しています。

### (2)けんみん文化祭呉・安芸地区フェスティバル

芸能の分野別けんみん文化祭の出場を目標に、出場団体の取りまとめを行っています。

### (3)安芸地区文化交流

芸能以外の作品を募集し、グループの創作活動に寄与したいと考えています。

### (4)音楽指導

広島交響楽団による音楽指導事業を行い、平成 18 年には小中学生の音楽指導、平成 22 年には中学生の音楽指導を行っています。

今後の活動としては、芸能部門の充実はもちろん、青少年の健全育成の一環として家族で鑑賞できる分野に力を入れて行きたいと考えています。



# 坂町文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 林 昭治

- 【会 長】 林 昭治
- 【所 在 地】 〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜 1 丁目1-1  
坂町町民センター内
- 【連 絡 先】 TEL:082-820-1515 FAX:082-820-1539
- 【加盟団体数・加盟人数等】 36 団体(408 人)
- 【設 立】 昭和 58(1983)年 11 月 3 日

## 【活動の紹介】

坂町文化協会は、町内文化団体の連絡協調と地域文化の振興に寄与することを目的として、昭和 58 年 11 月 3 日に、芸能部 19 団体、文芸部 25 団体で発足しました。現在、芸能部 28 団体、文芸部 8 団体、408 名が加入しています。

主な活動は、各団体の活動支援のほか、主催事業として毎年 11 月に文化祭を開催し、芸能部と文芸部それぞれが発表・展示を行っています。

あわせて町内の小・中学校や姉妹縁組を結んでいる島根県邑智郡川本町の文化団体からも出演していただき、広く文化での交流を深めています。

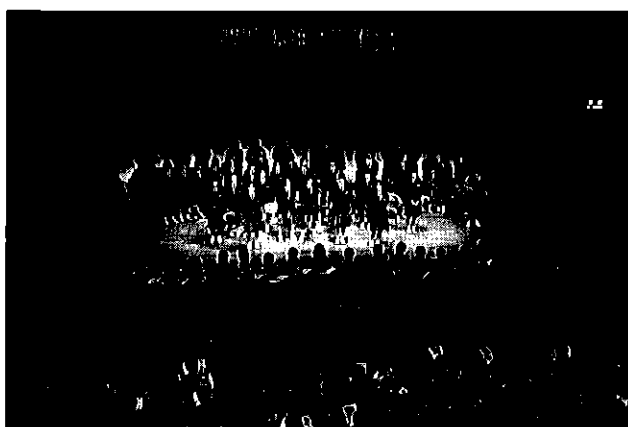
こうした中、入場者が年々増え続けていることが、会員の励みになっており、今後も皆さまに愛される事業として、続けていきたいと思っています。

平成 15 年 11 月には、坂町文化協会創立 20 周年を記念して「文化協会の 20 年のあゆみ」を作成し、会員それぞれが、文化は豊かな人間性を育むものであるとともに、人と人とのつながりや相互に理解し、尊重し合う土壌を提供するものであると確認し合い、芸術と文化の普及と振興への更なる邁進を決意いたしました。

また、当文化協会が中心的役割を果たし、けんみん文化祭ひろしまなども積極的に開催いたしております。

しかし、こうした活動の中、会員の高齢化が目立っているという問題点も抱えており、新たな文化団体の育成や若者の文化活動の支援など、より活発な運営を図っていかなければなりません。

これからも、この町の文化を次世代に継承し、坂町文化協会が発展していくために、先ず会員が楽しみながら活動できるよう、皆さんとともにがんばっていききたいと思います。



# 江田島市文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 三戸 義明

【会 長】 三戸 義明  
【所 在 地】 〒737-2213 江田島市大柿町大原 505 番地  
江田島市教育委員会内  
【連 絡 先】 TEL:0823-40-3037 FAX:0823-57-2711  
【加盟団体数・加盟人数等】 142 団体(1,491 人)  
【設 立】 平成 16(2004)年 8 月

## 【活動の紹介】

江田島市文化協会は、各分野相互の交流と文化の振興を図り、またその発展に寄与することを目的に設立されました。

本会は、4 町それぞれにある文化団体から成り、会員一人ひとりが公民館活動をしております。その日ごろの活動の成果を発表し、活動を紹介する場として、各町それぞれの公民館まつりや、全市での発表会を開催しております。

こうした活動をとおして、各郷土の文化を尊重することを伝え、発揚して次世代に継承していきたいと思っています。

### 《発表会実績(22 年度)》

江田島市文化団体交流発表会(6/21 出演 49 団体 254 名、来場者 667 名)

江田島市文化協会作品発表会(11/27~28 作品数 503 点、来場者 430 名)

●江田島文化連盟(会員数 625 名、芸能部 36 団体、作品部 22 団体)

▶公民館祭り平成 21 年度の実施状況・・・宮ノ原コミュニティまつり(6/6)、鷺部コミュニティまつり(12/6)、切串ふれあいまつり(3/10)、江田島公民館まつり(3/17)

▶その他イベント参加状況等・・・江田島市美術展(10/31~11/3, 10 点)、江田島まるごとフェア(11/11~20, 4 団体 44 名)、呉・安芸地区フェスティバル(2/21, 2 団体 16 名)

●大柿文化団体連合会(会員数 300 名、芸能部 15 団体、作品部 14 団体)

▶公民館祭り平成 21 年度実施状況・・・大柿公民館まつり (3/6)

▶その他イベント参加状況等・・・大柿美術作品展(11/7 約 300 名)、呉・安芸地区フェスティバル(2 団体 10 名)

●能美文化団体連合会(会員数 412 名、芸能部 24 団体、作品部 14 団体)

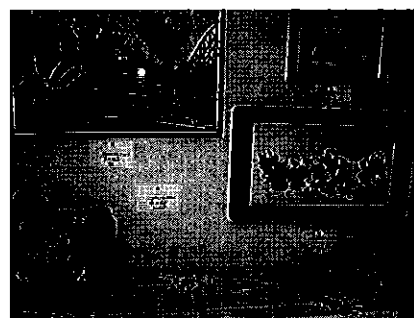
▶公民館祭り 21 年度実施状況・・・のうみ公民館まつり(3/24 300 名)

▶その他イベント参加状況等・・・江田島市まるごとフェア(3 団体 15 名)、呉・安芸地区フェスティバル(2 団体 10 名)

●沖美文化団体連合会(会員数 154 名、芸能部 13 団体、作品部 10 団体)

▶公民館祭り平成 21 年度実施状況・・・おきみ公民館祭り芸能大会(11/15 450 名)

▶その他イベント参加状況等・・・江田島市美術展(参加 18 点)、江田島市まるごとフェア(5 団体 15 名)、呉・安芸地区フェスティバル(2 団体 15 名)、けんみん文化祭ひろしま'10 大正琴・新舞踊の祭典(1 団体 4 名)、西部地区大竹フェスティバル(1 団体 6 名)





# 東広島市文化連盟

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 武則 武

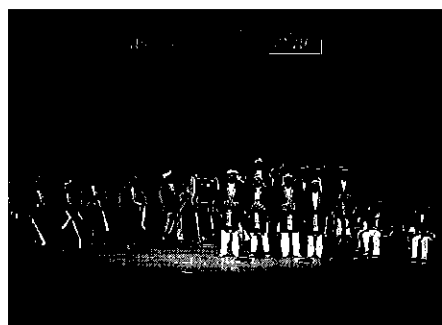
- 【会 長】 武則 武
- 【所 在 地】 〒739-0024 東広島市西条町御菌字 2618-3  
武則 武方
- 【連 絡 先】 TEL:082-424-1047  
Email:takeru-19@go.enjoy.ne.jp
- 【加盟団体数・加盟人数等】 216 団体(3,294 人)
- 【設 立】 平成 19(2007)年 4 月 1 日

## 【活動の紹介】

### 東広島市文化連盟の経緯

平成 17 年 2 月 7 日の 1 市 5 町(東広島市、安芸津町、黒瀬町、河内町、豊栄町、福富町)の合併に伴い、これまで各地で活動を続けてきた文化団体が集結し、東広島市文化連盟は発足しました。

合併後初めてとなる「けんみん文化祭東広島地区フェスティバル(FC)」を平成 18 年 8 月 27 日に安芸津中学校体育館において開催しました。以降、東広島市中央公民館大ホールを中心に、各町が隔年毎の輪番制で東広島地区 FC を開催しております。



### 安芸の国は文芸の郷

安芸の国(旧賀茂郡・豊田郡)は、日本の伝統文化芸能及び庶民活動の原点にあり、たゆまなく成長しています。

私たちは、郷土芸能を継承しておりますが、「人生限り有り、文芸限り無し」の如く、郷土芸能を親から子へ、子から孫へと伝承していく所存でございます。

ここに県文連の 30 周年にあたり、1 市 5 町の歴史について紹介します。



### ●東広島市文化連盟東広島支部 (会長 武則 武、65 団体・1,100 人)

昭和 52 年旧東広島市(西条町、高屋町、八本松町、志和町)の学園都市づくり文化活動として「東広島市芸能祭」を初代会長 上田完山(都山流尺八師範)により結成しました。

その後、昭和 55 年 12 月 20 日東広島市中央公民館において、18 部門、92 団体、1,500 名で二代目会長 西谷宏(歌謡部)と理事 18 名で「東広島市文化協会」を設立しました。

以降、けんみん文化祭・東広島市芸能祭・芸術祭・東広島市長杯歌謡選手権大会等、市民と一緒に伝統文化の育成・伝承に邁進しております。



●東広島市文化連盟豊栄支部（会長 栗原信明、15 団体・120 人）

昭和 57 年 5 月 20 日、初代会長 津田敏男氏の尽力で「豊栄町文化協会」を設立しました。主な行事は「文化祭」と、豊栄が広島県のほぼ中央に位置していることから始まった「へそ踊り」を軸に発展しています。

●東広島市文化連盟安芸津支部（会長 矢原大和、80 団体・1,200 人）

昭和 28 年 4 月当時、豊田郡安芸津町は、伝統文化育成のため「安芸津町文化団体連絡協議会及び文化実行委員会」を町を挙げて結成しました。

昭和 48 年 4 月に名称を「安芸津町文化団体連合会」に改名し、「第 1 回芸能祭」を安芸津町公民館で開催しました。

以降、公民館活動として文芸展示・芸能発表を中心に 11 月に文化祭、3 月に展示会、6 月に特別企画、更に秋から冬にかけて文化講演会及び万葉の里安芸津短歌大会を開催しています。

●東広島市文化連盟黒瀬支部

（会長 豊田一夫、26 団体・540 人）

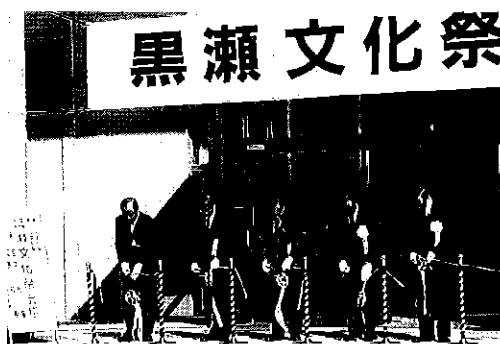
賀茂郡黒瀬町は、昭和 56 年 11 月に文芸部主催（部長 工広省三）の「第 1 回黒瀬文化展」開催から出発しました。

昭和 61 年 11 月に「黒瀬町文化協会」（会長 木村垂穂、文芸部長 波多野洋壮）を設立し、第 1 回黒瀬町文化祭と芸能祭をそれぞれ開催しました。

平成 6 年黒瀬文化センターせせらぎホール落成式典を開催しました。（会長 平尾敬三）

平成 17 年東広島市文化連盟黒瀬支部設立。（会長 木原利行、文芸部長 吉高佳子、芸能部長 小野昭二）

以降、毎年 11 月に「黒瀬文化祭」、文芸部は「文芸展」、芸能部は「芸能祭」を開催しています。



●東広島市文化連盟河内支部

（会長 松浦義弘、20 団体・250 人）

賀茂郡河内町は、昭和 61 年 3 月 27 日会長 貞木力、副会長 岡光治の指導で「河内町文化協会」を設立しました。

平成 6 年 6 月 1 日に、二代目会長 岡光治、副会長 宮本義則に役員改選し、事業は文化祭、文化講演会、各種文化芸能行事を開催しています。

●東広島市文化連盟福富支部

（会長 井上芳生、10 団体・84 人）

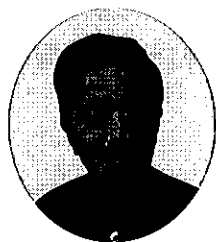
平成元年、青年団の主催により「文化祭」を開催。その後年々活発になり平成 4 年「福富町文化協会」として発足しました。

行事は、新春芸能発表会、しゃくなげ祭り、夏祭り、アクアフェスタ in 福富等多くの行事を開催しています。



# 安芸太田町文化団体連合会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 益田 藤子

【会 長】 益田 藤子

【所 在 地】〒731-3501 山県郡安芸太田町加計 5908-2  
安芸太田町教育委員会内

【連 絡 先】 TEL:0826-22-1212 FAX:0826-22-1166

【加盟団体数・加盟人数等】 65 団体(547 人)

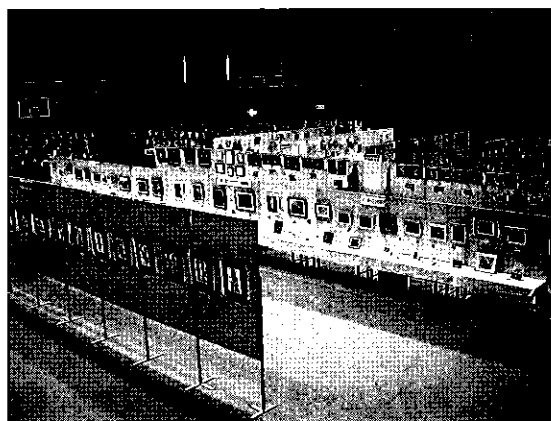
【設 立】 平成 17(2005)年 4 月

## 【活動の紹介】

安芸太田町文化団体連合会は、平成 16 年 10 月 1 日、加計町、筒賀村、戸河内町の 3 町村が合併し、安芸太田町となったことに伴い、平成 17 年 4 月 1 日に旧 3 町村の文化団体連合会が合併して結成されました。旧 3 町村の文化団体は支部として残り活動しています。現在 65 団体、547 人が加盟し、団体ごとに日々練習や作品作りを重ねています。

各支部では毎年 1 回発表会があり、それぞれの支部の団体が作品の展示や発表会を行っています。中には、他の支部の団体にも参加を促し盛大に行う支部もあります。

その他、「安芸太田町文芸・芸能フェスティバル」として安芸太田町文化団体連合会全体の発表会を、平成 20 年 3 月 1 日、2 日に第 1 回を、平成 21 年 5 月 30 日、31 日に第 2 回を行いました。現在は会期を 4 年に 1 回としているため、次回開催は平成 25 年度を予定しています。また、任意ではありますが、年に 1 回行われる「けんみん文化祭芸北地区フェスティバル山県地区大会」に参加し、けんみん文化祭分野別大会へ推薦される団体もあります。町の年齢分布と同じで残念ながら高齢化が徐々に進んでいますが、若者に負けないくらいの意気込みで頑張っています。



# 北広島町文化団体連合会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 中祖 岩雄

【会 長】 中祖 岩雄

【所 在 地】 〒731-1533 山県郡北広島町有田 1220-1  
北広島町教育委員会千代田中央公民館内

【連 絡 先】 TEL:0826-72-2249 FAX:0826-72-6034

【加盟団体数・加盟人数等】 43 団体(322 人)

【設 立】 平成 20(2008)年 4 月 1 日

## 【活動の紹介】

山県郡も合併に伴って、2 町 1 村（加計町、戸河内町、筒賀村）の安芸太田町と 4 町（芸北町、大朝町、千代田町、豊平町）の北広島町の 2 町になりました。北広島町の誕生は平成 17 年 2 月 1 日ですが、北広島町文化団体連合会の形としての設立は平成 20 年 4 月 1 日です。平成 21 年 7 月に加盟団体の参加を得て設立総会を開催し、ようやく北広島町の文化団体連合会としての活動を開始することになりました。芸北、大朝、千代田、豊平の 4 支部が、それぞれの地域の伝統や文化歴史に由来した活動を続けております。

現在 43 団体、会員数 322 名の参加をいただいておりますが、各団体ともに共通する悩みは会員の高齢化です。それでも生きる喜びを感謝しながら練習に励んでおります。

今課題となっていることのひとつに、北広島町文化団体連合会の発表の場がない事です。今のままでは加盟費用をいただきながら、なんのメリットもなければ魅力のない連合会になってしまいます。今年こそは、会員の協力を得て独自の発表会を開催したいと考えております。

「景観 10 年・景色 100 年・風土千年」と言いますが、継続して取り組むことが大切であり、文化そのものを大切に育てることこそ「人・町」を育てる基盤であると確信し、未永い地道な活動を続けて参りたいと思います。



総会では、各支部から練習成果の発表してもらっています

# 安芸高田市文化団体連合会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 土本 義雄

【会 長】 土本 義雄  
 【所 在 地】 〒731-0534 安芸高田市吉田町桂 465  
 大中義治方  
 【連 絡 先】 TEL/FAX:0826-43-1316  
 【加盟団体数・加盟人数等】 269 団体(4,858 人)  
 【設 立】 平成 17(2005)年 4 月 1 日

## 【活動の紹介】

平成 16 年 3 月 1 日に高田郡の 6 町(吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町)が合併し、安芸高田市(現在人口約 32,000 人)が誕生しました。これに伴い、各町文化協会によって安芸高田市文化団体連合会を設立しました。加盟団体数及び人数は、次のとおりです。

吉田町文化協会	40 団体	823 人	高宮町文化協会	92 団体	2,113 人
八千代町文化協会	24 団体	284 人	甲田町文化協会	31 団体	466 人
美土里町文化協会	26 団体	705 人	向原町文化協会	56 団体	467 人
			計	269 団体	4,858 人

各町文化協会は、加盟団体と活動内容にそれぞれ特色があります。特に安芸高田市は郷土芸能の神楽が盛んであり、中でも美土里町と高宮町には多くの神楽団があり、県内外に大きな神楽ブームを巻き起こしています。

さらに郷土芸能として田楽、はやし田、神祇、盆踊りなどがあり、各町で受け継がれています。吉田町の子ども歌舞伎も大きな特色のひとつです。

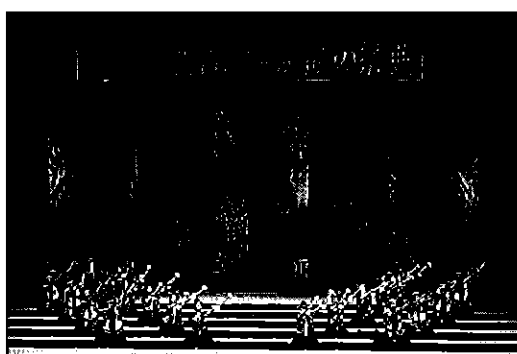
これら郷土芸能と併せて舞台芸能、展示芸術の各種団体が多数加盟しています。

文化施設は、合併前に設置されている高宮田園パラスツォ、甲田文化センターミュージズ、美土里生涯学習センターまなび、八千代文化施設フォルテ、向原公民館と、平成 19 年に完成した安芸高田市民文化センターがあります。

平成 19 年から市民文化センターで、市民文化祭を舞台芸能と展示芸術に分けて開催しており、多くの出演者、出展者、来場者で大変にぎわっています。

また、旧町ごとの文化祭も引き続き開催しており、身近な発表の場として楽しまれています。

平成 21 年から合唱祭も共催しており、文化のかおり高い安芸高田市の創造に努めています。



# 竹原市文化団体連盟

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 安田 克樹

- 【会 長】 安田 克樹
- 【所 在 地】 〒725-0022 竹原市本町 1 丁目 2-6  
すみれドレスメーカー内 大歳英子方
- 【連 絡 先】 TEL/FAX:0846-22-2037
- 【加盟団体数・加盟人数等】 34 団体(1,200 人)
- 【設 立】 昭和 57(1982)年 4 月 1 日

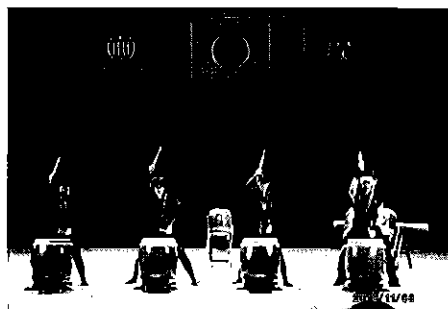
## 【活動の紹介】

竹原市文化団体連盟は昭和 57 年に創立され初代会長に村上環三先生を、次いで昭和 60 年に大城忠三先生を二代目会長に推戴、平成 14 年 6 月の総会において不肖私が三代目に推戴され、現在に至っております。

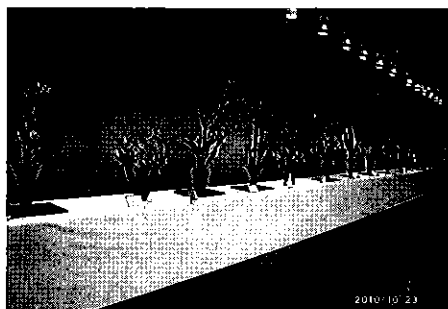
加盟団体は 34 で、それぞれ個々に事業を展開していますが、58 回を迎えた「竹原市総合文化祭」は毎年文化の日を中心に連盟一丸となって賑やかに開催されています。また、5 月の「竹原竹祭り」と 10 月の「憧憬の路」には自発的に参加して、市のイベントを盛り上げています。また年一回発行している会報も 27 号になりました。

市長の「官民協働の町造り」宣言に呼応して、行政機関と民間団体が環境の醸成とその基盤の強化、団体が行う芸術の創造又は普及を図り、文化活動に支援を継続的且つ安定的に行う事を目的として、官民一体の組織である「竹原市芸術文化振興協議会」を平成 20 年 4 月 1 日に創設、その事務局を市役所の町づくり推進課文化生涯学習室に置きました。このことは、連盟創立以来 26 年目にしての発展、快挙となると信じています。

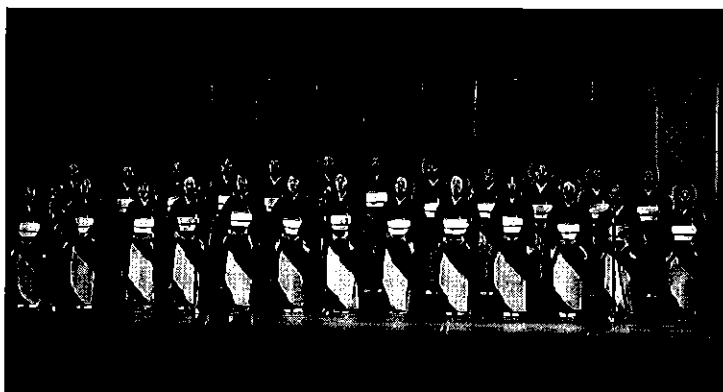
人と人との繋がりが希薄化し、それに起因する痛ましい事件が増えているように思える今日であり、何時かの〇〇景気と呼ばれた好景気も期待できそうにない将来ですが、我々の地道な活動が世の中を救うと信じて、我々自身が芸術・文化を楽しみながら豊かな心を育んでいきたいものです。



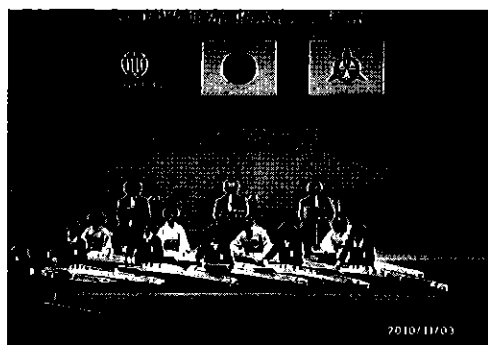
小早川水軍太鼓(音楽協会)



華道家元池坊竹原支部



賀堂流竹原山陽吟詠会(国民文化祭出場)



「たちばな会 立田冴子社中」と  
「都山流尺八楽会二竹会」の合同発表

# 三原市文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 勝村 善博

【会 長】勝村 善博

【所 在 地】〒723-8601 三原市港町 3 丁目 5-1

三原市経済部観光文化課内

【連 絡 先】TEL:0848-67-6015 FAX:0848-64-4103

【加盟団体数・加盟人数等】178 団体(1,867 人)

【設 立】昭和 40(1965)年4月

## 【活動の紹介】

三原市文化協会は、昭和 40 年に新しく開館した三原市文化会館(現在は跡地に平成 19 年三原市芸術文化センターポロがオープン)を芸術文化活動の拠点として盛り上げようと結成されました。現在、芸能部・舞台鑑賞部・映画鑑賞部・文芸部・美術部・茶道部・華道部の 7 部の活動と各支部活動を行っています。

「ひろしまの文化」(第 27 号 平成 22 年 3 月発行)で全体の活動を中心に紹介させていただきましたので、今回は本郷・久井・大和支部の概要を紹介します。

### ●本郷支部(支部長:柳川朝郎)

設立は昭和 52 年。現在 75 団体が所属し、1,038 名が活動しています。

活動内容は、茶道・華道・舞踊・カラオケ・書道・絵画・文化財研究等々、多岐に渡っています。普段の練習鍛錬、研究成果の発表の場として、毎年「ほんごう文化祭」を 2 日間にわたって開催し、通算 33 回を数えています。けんみん文化祭、市美展等にも積極的に参加をしています。年々会員数は増加しており、活動も年々活発になっています。

### ●久井支部(支部長:作田直美)

芸能部・美術部があり、芸能部 18 団体(会員数 193 名)、美術部 9 団体(会員数 78 名)です。各団体は久井町内の各施設を拠点に、活動しています。

今年度の主な活動事業は、近郷コーラス交流発表会・久井支部歌謡発表会・ふれあい祭り作品展示・ふれあい祭り芸能発表会等です。合併し新市となりましたが、文化活動の振興、発表の場として、積極的に参加していきます。

### ●大和支部(支部長:舛谷敏文)

芸能部門(歌謡・ダンス・民謡・合唱・大正琴・尺八・吟詠・新舞・民踊・舞踊・銭太鼓・雅楽・演芸・神楽・箏・短歌)の 16 部 29 団体と展示部門(華道・茶道・書道・写真・水墨画・押し花)の 6 部 9 団体、300 名が活動しています。

主には、7 月に日頃の練習の成果を発揮する場として大和文化センターで平成 22 年で 6 回目となる交流発表会を開催したり、その他芸能祭やけんみん文化祭へ参加したりしています。



## 尾道市文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長代行 吉村 功

【会長代行】吉村 功

【所在地】〒722-8501 尾道市久保 1 丁目 15-1

尾道市教育委員会文化振興課内

【連絡先】TEL:0848-25-7366 FAX:0848-37-2740

【加盟団体数・加盟人数等】149 団体(約 4,400 人)・個人会員 86 人

【設立】昭和 21(1946)年

### 【活動の紹介】

戦後まもない昭和 21 年、前身である「尾道文化研究会」から発足しました。この会は歴史や伝統を大切にしながら、文化の創造発展を願う市民の集まりで、文学や芸術を研究していくことで、社会変動の激しい時に潤いのあるまちづくりをしていこうというものでした。

その後、昭和 56 年 9 月に、市内の数多くの文化団体を結集して、新たに「尾道市文化協会」を設立しました。

市町合併にあわせて、平成 17 年には御調町文化協会・向島町文化協会、翌年に因島市文化協会・瀬戸田町文化協会と合併し、8 部会(149 団体・個人)約 4,500 人会員が所属する文化団体として今日に至ります。

今に続く事業として、昭和 57 年度には文芸誌『尾道文化』を発刊、58 年度からは美術・茶道・華道・音楽・芸能の祭典として総合文化祭を開催しています。

そして、県美展巡回展や市民音楽芸能祭の受託のほか、福山地方文化のまちづくり事業(尾道新人演奏会)や尾三地区総合文化祭など市域を越える事業にも積極的に参画しています。また、合併以前から根付いている地域の活動も、地区文化祭や分野別発表会、地区文芸誌の発行など、地区文化事業として活かされています。

「尾道市文化協会」は、会発足の理念を忘れず、各分野で精進していきます。



尾道小径散策秋の茶会



総合文化祭(華道部)



『尾道文化』



# 大崎上島町文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 高橋 正裕

- 【会 長】 高橋 正裕  
【所 在 地】 〒725-0301 豊田郡大崎上島町中野 2067-5  
大崎上島町教育委員会社会教育課内  
【連 絡 先】 TEL:0846-64-3055 FAX:0846-67-5444  
【加盟団体数・加盟人数等】 57 団体  
【設 立】 平成 15(2003)年

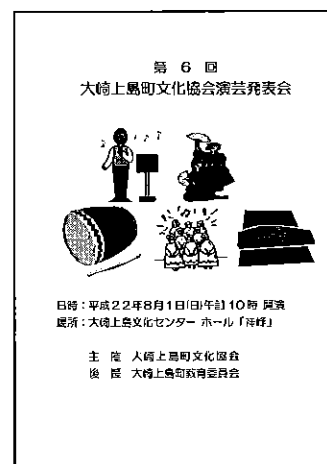
## 【活動の紹介】

平成 15 年 4 月、東野町、大崎町、木江町の旧 3 町が合併し、大崎上島町が誕生。それに伴い、音楽、茶道、華道、俳句、舞踊等の各団体が、町内の文化交流による団体の意識統一を目的として、東野、大崎、木江の各文化協会からなる大崎上島町文化協会を発足しました。

前身となる東野・大崎の各文化協会の活動をもとに、まちの文化と教養を高めるため、文化講演会、鑑賞会など、文化活動の支援と推奨を開始しました。

当初、54 団体が所属し、各教室の定例開催、講演会や演芸発表会の開催、町文化祭への出展・出演を続け、今日では 57 団体の所属に至っています。また、町外への活動として、けんみん文化祭尾三地区総合文化祭に参加する団体もあり、小さいまちながら積極的な活動を続けています。

今後は、現文化活動の継続や各教室間でのさらなる交流を通じ、会員数の拡大に取り組みます。また、地域らしさを取込んだ活動の展開により、会が一体となって地域文化を発信し、まちの活性化に寄与できるよう努めてまいります。



# 世羅町文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 仙光 保喜

【会 長】仙光 保喜

【所 在 地】〒722-1111 世羅郡世羅町寺町 1158-3  
世羅町教育委員会内

【連 絡 先】TEL:0847-22-4411 FAX:0847-22-2766

【加盟団体数・加盟人数等】88 団体(682 人)・個人会員 9 人

【設 立】平成 17(2005)年 4 月

## 【活動の紹介】

世羅町文化協会は、平成 16 年世羅郡 3 町の合併に伴い旧甲山、世羅、世羅西町の文化協会が一緒になり誕生しました。旧町単位の文化協会は、各支部として引き続き活動を行っています。

世羅町文化協会は、芸術部・歌謡部・芸能部の 3 部と 3 支部で、88 団体、会員数 691 人の構成です。活動場所は、自治センター（旧公民館）や地域の集会所などを拠点にしております。

文化協会の役割は、団体や会員の練習成果を発表する場の提供にあると思います。3 支部合同の活動としては、毎年 6 月に地域における文化水準の向上を目的として、総合文化祭を開催しています。平成 22 年度は、「第 6 回総合文化祭」と「せら子どもフェスタ」を合同で開催しました。出演者 200 人(42 団体)と出品者 154 人（16 団体）がありました。

次に各支部ごとの活動について紹介します。世羅西支部では、地域の大きな祭り「長寿つばきの里まつり」に合わせて、毎年 7 月に芸能発表・作品展示を行っています。甲山・世羅支部においては、合同で「文化の集い」を毎年 11 月に開催しています。

続いて日頃の交流活動について紹介します。文化協会本部では、優れた文化を吸収し文化活動に活かすため平成 21 年度より実行委員会を設け町外研修をしています。世羅西支部では、会員相互の親睦を図るとともに、より見聞を広め文化活動を高めるために美術館・歴史的文化遺産等の研修旅行もしています。

文化協会本部事務局では、会員の親睦・情報提供のために機関紙「文化情報」を発刊しています。

文化活動は私たちの生活を豊かなものにし、心に潤いを与えてくれるものです。現在、団体や会員の減少傾向が見られますが、「総合文化祭」と「子どもフェスタ」の同時開催など、子どもから大人まで集う催しを通して文化活動が益々活発になり、継承されていくことを願うものです。

## 福山文化連盟

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 土肥 勲

- 【会 長】 土肥 勲  
【所 在 地】 〒720-0812 福山市霞町 1 丁目 10-1  
まなびの館ローズコム福山市生涯学習プラザ内  
【連 絡 先】 TEL:084-931-6753  
【加盟団体数・特別会員(賛助企業など)】 220 団体・64 社  
【設 立】 昭和 25(1949)年 4 月

### 【活動の紹介】

#### 福山文化連盟のあゆみ

福山の文化活動は、戦災による痛手から立ち上がるべく昭和 22 年 5 月、駅前三菱電機跡地と福山城跡公園を会場に開催された「福山産業復興博覧会」の文化行事をきっかけに一気に復活ののろしをあげたといつてよいでしょう。

この博覧会に参画した数名の文化人たちは自由に語り合えるサロンの設置を求め「市民館建設期成同盟会」を設立、資金集めに奔走するかたわら劇団「福山市民座」を結成、募金公演を行いました。このときの演劇活動が基となって、昭和 23 年広島・岡山両県下の一般・高校を対象に第 1 回近県演劇コンクール(審査委員長 小山祐士)を開催し、以降現在も引き続き長い歴史を刻んでいます。

福山市民館(のちの中央公民館)は昭和 23 年 7 月竣工、12 月に市へ移管されたのを機に翌年期成同盟会を解散、市内の文化団体に呼びかけ新たに「福山文化連盟」を設立、市民館運動と一体となって文化活動を展開するに至りました。

その後、市町村合併が進み市域も広くなり文化団体も増加したことから、昭和 39 年より強固な文化団体に改組すべく協議を重ねた結果、6 月に演劇部をはじめ 7 部 72 団体の加盟を得て再発足しました。その際、従来の代表幹事制を会長制に改め、初代には当時市長で画家の徳永豊(昭和 39～48 年)がなり、以降二代目荒木計三(昭和 48 年～平成 2 年)、三代目藤井軍三郎(平成 2～10 年)、四代目稲葉勘一(平成 10～12 年)、五代目平井隆夫(平成 12～20 年)と続き、現在は六代目です。そして、事務局体制は昭和 49 年以降中央公民館の手を離れて独自の運営を行っています。

現在の組織は、文芸・邦楽・洋楽・絵画・日本画・書道・写真・工芸・彫刻・演劇・舞踊・洋舞・能楽・芸能・吟詠詩舞・茶道・華道・園芸・懇話部の 19 部 220 団体で、主たる行事、事業は次の通り行っています。

### 【会議・連絡調整】

年 1 回の総会・新年集会のほか、毎月理事会および各部連絡協議会を開き、各加盟団体間の情報交換、伝達、支援の話し合いを行うなど加盟団体の連絡調整を図っています。

【出版】

過去に年報・機関誌の発行をしてきましたが、節目毎に演劇・文芸・美術などの記念誌を、また50周年には50年の足跡と加盟団体を紹介する記念誌を刊行しました。現在は「福山文学選奨入賞作品集」の発行および毎月「文連だより」を全会員に配布しています。

【友好都市文化交流】

昭和54年福山市と韓国浦項市との友好都市縁組みの調印が行われたのを機に、韓国芸術文化団体連合会浦項支部との文化交流が始まり、美術・音楽・伝統芸能などの相互交流が今も続いています。

【自主事業】

昭和44年機関誌発刊を機に多年の懸案であった「総合文化祭」の開催が実現し、毎年11月3日を中心に「福山美術協会公募展」「能楽大会」「いけばな展」「近県演劇コンクール」「北部美術協会展」「芸能大会」「松永地区美術展」の7事業を実施しています。また昭和51年市制60周年を記念し、市民の文芸創作活動を奨励する趣旨で「福山文学選奨(小説・随筆・児童文学・詩・短歌・俳句・川柳)」を制定、毎年公募実施中です。さらに平成6年ふくやま芸術文化ホール・リーデンローズ開館に伴い運営する財団の協力のもと、年1回「文連芸術祭」を大ホールで開催し、各部がそれぞれの魅力で舞台を飾っております。その他「宮城道雄記念箏曲演奏会」「文連カラオケ大会」も恒例の事業として好評を得て開催しています。

【協賛事業】

5月の「福山ばら祭」にはカラオケ大会・能楽・ばらの絵展・いけばな展・茶の野点・芸能発表会・文芸作品募集などの事業を担当し、祭りを盛り上げています。

【けんみん文化祭】

「けんみん文化祭ひろしま」の分野別・地区フェスティバル開催にあたっては府中文化連盟、神石高原町文化連盟と日頃から緊密なる連繋を図っています。



## 府中文化連盟

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 神田 知道

【会 長】 神田 知道

【所 在 地】 〒726-0005 府中市府中町 27-1  
府中市教育委員会生涯学習課内

【連 絡 先】 TEL:0847-43-7181 FAX:0847-43-6060

【加盟団体数・加盟人数等】 12 団体(約 800 人)

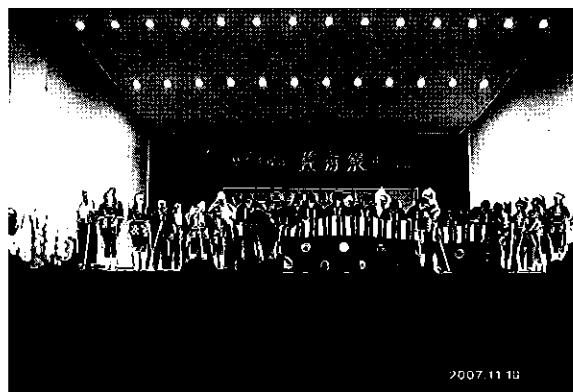
【設 立】 昭和 57(1982)年 6 月

### 【活動の紹介】

私たち府中文化連盟は創立 27 年を迎えた平成 19 年に、当時の会長 加茂一三氏のもと『感動を呼ぶ芸術祭』を 11 月 17 日・18 日の 2 日間にわたって開催しました。加盟 13 団体(約 1,000 名)は、日頃の成果を舞台公演や作品展示で披露し、多くの感動を得ることが出来ました。

全国的に少子高齢化が叫ばれていますが、府中市も同様です。行政・教育・文化が共に、変革の時にあるのだと思います。たとえば、小中一貫教育の推進に伴う教育現場はもちろんのこと、子どもたちにも新たな行動がみられます。文化連盟としても、今のうちに子どもたちへ地域社会で、伝統ある郷土芸能を継承させていきたいと考えています。

高齢化に伴い、地域社会での協力基盤が年々弱体化することが懸念される中で、文化連盟は市民の心豊かな生活の実現に向けて一役を果たしたいと感じております。



# 神石高原町文化連盟

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 村上 克朗

【会 長】村上 克朗

【所 在 地】〒720-1522 神石郡神石高原町小畠 2025

【連 絡 先】TEL:0847-89-3344 FAX:0847-85-2227

【加盟団体数・加盟人数等】93 団体(993 人)

【設立】平成 17(2005)年 6 月

## 【活動の紹介】

神石高原町文化連盟は、平成 16 年 11 月に神石郡 3 町 1 村が合併したことにより、旧町村文化協会に神石郡美術協会も含めて単一の文化団体として活動していこうと、協議を重ね、設立に至ったものです。

平成 17 年 11 月に設立記念大会を開催し、芸能部門として、舞踊、民謡、神楽、太鼓、銭太鼓、合唱、カラオケ、マジックショー、琴曲、よさこいソーラン、コーラスなどの発表を、美術部門としては、書、掛軸、額、押し花、パッチワーク、さをり織り、陶芸、写真、絵手紙などの展示を行い、皆が一堂に会して日ごろの活動の成果を披露することができました。あわせて、神石郡美術展を実施し、洋画、彫刻、写真、工芸、書などを神石郡美術協会が出品し、名実ともに設立記念に値する内容だったと自負しています。

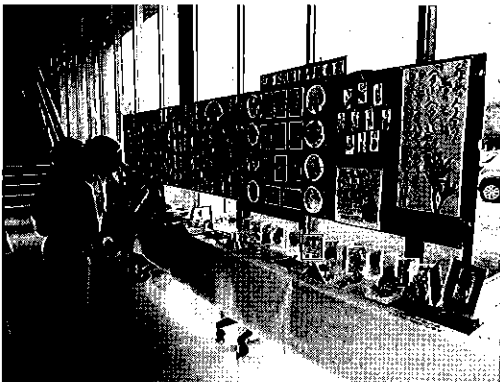
以来、毎年同様の会を旧町村を巡回しながら神石高原町総合文化祭として設け、平成 22 年 11 月には第 6 回を数え、合併前から実施していた神石郡美術展は平成 23 年に第 20 回の節目を迎えます。

また、旧町村でも独自に芸能発表会や美術作品展を継続しています。

設立当初 84 団体、903 人であった会員も、現在は 93 団体、993 人(複数の団体に属する会員を含む)と、県内一の高齢化が進む中山間の過疎地にあつて、加盟団体数、会員数ともに増えており、町内最大規模の団体となっています。

さらに、平成 18 年 12 月と平成 21 年 11 月には、けんみん文化祭ひろしま福山地区フェスティバルの開催地として、当連盟会員が舞台運営や会場案内などを担い、福山市、府中市の文化団体との交流を深めるとともに、分野別フェスティバルにも出演してきたところです。

今後とも活動を継続し、文化の継承、育成、創造をめざしていきたいと思ひます。



## 三次市文化連盟

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 伊藤 正壯

【会 長】伊藤 正壯

【所 在 地】〒728-0021 三次市三次町 1691-4

三次市文化会館内

【連 絡 先】TEL:0824-63-6335 FAX:0824-63-6337

【加盟団体数・加盟人数等】174 団体(1,731 人)

【設 立】平成 16(2004)年 4 月

### 【活動の紹介】

三次文化連盟は、旧三次市において昭和 43 年に結成されたのが始まりですが、平成 16 年 1 市 4 町 3 村が合併し、三次市文化連盟が発足しました。

三次市文化連盟は、地域的には合併時の市町村単位で 8 支部(三次・甲奴・吉舎・三良坂・三和・作木・布野・君田各支部)から成っています。

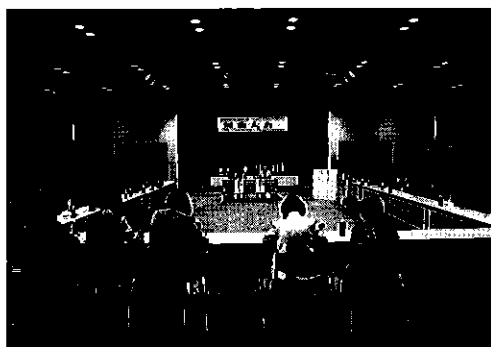
会の構成は、理事会・総会から成りますが、行事の企画・運営に当たっては、随時役員会議や部会を開き協議しています。

また、分野別では、文芸部会・美術部会・芸能部会・いけ花部会の 4 部門に分かれており、174 団体、1,731 人の会員で構成しております。

各団体の活動は各支部毎に日常的に行っており、「市民祭」「文化祭」などの名称でそれぞれの地域(支部)の自治連合会と共催するなど、地域の特性を生かした支部毎の行事を開催しております。

三次市文化連盟全体の事業としては、各部会を中心に一年間活動してきた集大成の発表の場として、いけ花展(展示数 9 団体 50 瓶)・俳句大会(応募数 238 句)・短歌大会(応募数 128 首)・芸能祭(出演団体 24 団体・出演者総数 182 人)・美術展(洋画・日本画・書・写真・工芸・その他総出展数 174 点)を開催しています。(括弧内の数字は平成 22 年度のもの。)

また、毎年各地で行われています「けんみん文化祭」へも推薦または公募により多くの団体が出場し頑張っています。



文芸部会「短歌大会」



美術部会「美術展」



芸能部会「芸能祭」



いけ花部会「いけ花展」

これらのほか、共催行事として「けんみん文化祭(三次会場)」「けんみん文化祭備北地区フェスティバル」「広島交響楽団コンサート」などを始めとする地域の芸術文化活動へ実行委員会として積極的に参画しています。

# 庄原市文化協会

平成 23 年 3 月 31 日現在



会長 池本 旭

- 【会 長】池本 旭  
【所 在 地】〒727-0013 庄原市西本町 2 丁目 17-15  
庄原市民会館内  
【連 絡 先】TEL/FAX:0824-72-5453  
【加盟団体数・加盟人数等】173 団体(2,039 人)  
【設 立】昭和 45(1970)年 4 月

## 【活動の紹介】

庄原市文化協会は、昭和 45 年に、故国利義勇氏を中心に、有志の皆さんが「文化の薫り高い郷土をつくろう」の理念のもとに、36 団体、606 名の会員を結集して設立されました。

国利義勇氏は、平成 7 年に広島県文化団体連合会会長に、平成 8 年には、全日本文化団体連合会副会長に就任されて、広島県、日本の文化の振興に貢献されました。

庄原市文化協会は、平成 17 年に、旧庄原市、旧比婆郡の東城町、西城町、口和町、高野町、比和町、そして旧甲奴郡総領町の合併による新庄原市の誕生に合わせて 1 市 6 町の文化協会が合併して、7 支部、173 団体、2,039 名を擁する大文化団体に発展しました。

庄原市文化協会の主な活動は、次のとおりです。

### 1. 機関誌「しょうばらの文化」の発行

文化協会創立以来、A4 サイズ 16 ページの機関誌を年 2 回発行し、各支部の活動の紹介をはじめ、団体、会員の広島県、全国における活躍の紹介など、支部・会員の活動交流と文化の振興に努めています。

### 2. 文芸誌「庄原文芸」の発行

A5 サイズ 160 ページの文芸誌「庄原文芸」を発行し、会員の作品を掲載して文芸活動の発展に努めています。

掲載内容は、論文、随筆、俳壇、歌壇、柳壇、詩壇、歌謡詩、小説、ノンフィクション、レポート、そして絵画の誌上展など、多岐に亘り、毎号 180 名ほどの応募作品を掲載しています。

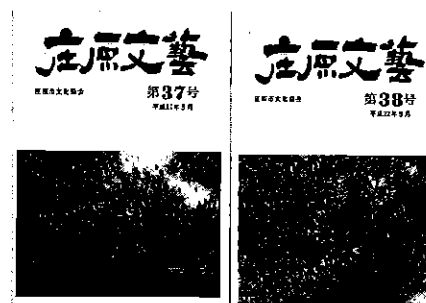
### 3. 庄原文芸大会

年 1 回庄原文芸大会を開催し、短詩形文芸作品を募集して、発表・交流の場を設けることで、文芸への理解を深め、地域文化の進展に努めています。

募集作品は、短歌・俳句・川柳・現代詩の 4 部門で、審査・表彰を行い、講師の講評・指導を受けて、短詩形文芸の向上に努めています。



機関誌「しょうばらの文化」



文芸誌「庄原文芸」



庄原文芸大会



#### 4. 庄原市民芸能祭

文化協会発足以来、年1回庄原市民芸能祭を開催し、芸能団体の発表の場を設けて芸能活動の発展に努め、平成22年第40回の記念大会を迎えました。演劇サークル「敷信母さん劇団」は、平成11年に続いて、2度目の国民文化祭に出演しました。

庄原市文化協会の各支部においても、それぞれ芸能祭を開催し、地域の芸能文化の発展に努めています。



敷信母さん劇団

#### 5. 庄原市美術展

庄原市文化協会・庄原市・庄原市教育委員会の主催で、庄原市民から美術作品(日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真)を募集し、展示・審査・表彰を行うことにより美術作品の創作活動を奨励し、鑑賞の機会を提供して芸術文化の振興に努めています。

さらに、特筆すべき活動は、平成2年に庄原市、三次市、比婆郡、双三郡の各市町村の文化団体が連携して、広島県文化団体連合会備北支部を結成し、備北地域の文化の振興を目的に次の活動を行っていることです。



庄原市美術展

##### (1) けんみん文化祭備北地区フェスティバルの開催

けんみん文化祭ひろしまへの出演団体の選出を目的に開催し、平成22年第20回大会を迎えました。県北合唱連盟に所属する11の合唱団100名により第20回記念混声合唱団を結成して特別出演の大合唱を行い、感動の20回記念大会になりました。



第20回記念混声合唱団

##### (2) 備北地区文化交流会の開催

毎年、参加希望者50名を募り、備北地区17支部を順に訪問して、その地域の歴史・文化・自然に触れて理解を深め、備北の文化の創造を目指す活動を進めています。

##### (3) 備北短歌大会の開催

毎年、短歌作品を募集し、講師を招聘して選者選、相互選により審査・表彰し、講師による講評・指導を受けて学び、文芸活動の推進を図っています。

##### (4) 備北の風土写真コンテストの開催

備北地域で撮影した写真作品を募集し、審査・表彰・展示して、撮影技術の向上と備北の文化の理解と創造に努めています。

##### (5) 備北写真撮影講習会の開催

講師を招聘して、備北地域で写真撮影講習会を開催し、撮影技術の向上に努めています。

# 平成22年度事業紹介

---

## 1. 総会開催

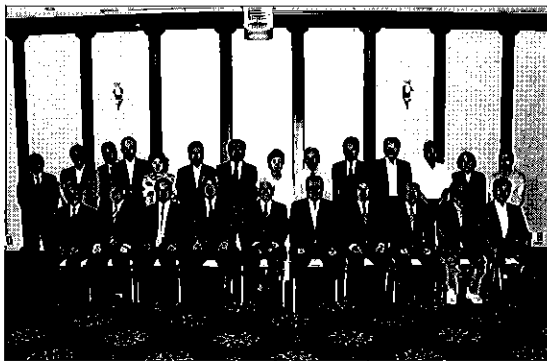
期日 平成22年6月17日(木)

場所 鯉城会館 5Fルビー

平成22年度広島県文化団体連合会総会が、平成22年6月17日(木)に鯉城会館において開催されました。榎坪会長あいさつの後、議事に入りました。

- (1) 平成21年度 事業実施報告及び決算報告について
- (2) 平成22年度 事業実施計画(案)及び予算(案)について
- (3) 会費及び入会金について
- (4) 30周年記念事業計画(案)について

記念誌発行、記念文化講演会、記念式典・祝賀会の開催を決定しました。



## 2. 文化研究会等講師招へい事業

今年度も、加入文化団体が行う講習会や研修会等の開催による指導者の育成及び講師の派遣事業を助成しました。(助成金額は1事業につき3万円を限度としています。)

◆平成22年度の文化研究会等講師招へい事業の一部を御紹介します。

講師名	事業名	市町名
橋本綾子 (広島教育実践教育所所員)	佐伯文芸クラブ第31回文化講演会 「童話作家新美南吉を語る」	廿日市市
辻井いつ子	第33回府中セミナー	府中町
山城綾子	こぐま絵本の会 クリスマスコンサートとペーパーアート	熊野町
宮内くにえ(ハーピスト)	江田島市文化協会 音楽会	江田島市
内山美樹子 (早稲田大学名誉教授)	文化講演会「日本のシェークスピア・並木宗輔と三原」	三原市
竹下陶子、橋爪隆昌 他7名	第35回ふくやま文学選奨 表彰式・部門別研究会	福山
鈴木厚子、宮本君子	第37回みよし市民祭「俳句大会・短歌大会」	三次市
武田祐三、寺岡隆行、清光康子	備北文化交流会	庄原市

今後も文化研究会等講師招へい事業を実施していく予定ですので、講演会や研究会などに積極的に活用し、一層地域文化の振興に努めてくださるようお願いします。

なお、ご不明な点等がございましたらお気軽にお問い合わせください。

### 3. 第30回文化講演会



- 期日 平成22年11月28日(日)
- 会場 庄原市民会館
- 講師 松平定知(NHKキャスター)
- 共催 庄原市文化協会

庄原市文化協会  
会長 池本 旭

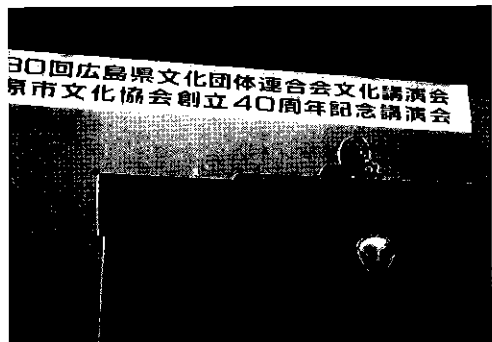
第30回文化講演会は、庄原市文化協会創立40周年記念講演会を兼ねて11月28日(日)庄原市民会館に「NHK紅白歌合戦」の総合司会や「その時歴史は動いた」などのテレビ番組でおなじみのNHKキャスター松平定知氏をお招きし開催しました。

講演は「私の取材ノート『その時歴史は動いた』の現場から」の演題で、流行りのNHK大河ドラマ龍馬伝にちなんで、坂本龍馬の広島ゆかりのエピソードを披露くださいました。また、松平氏が出演されたNHK番組「連想ゲーム」や「トンチ教室」等の裏話をユーモアを交えながら話され、会場は爆笑の渦に包まれました。

講演会のオープニングは、庄原市文化協会所属の日本舞踊の団体「花柳銀扇会」の2名のお師匠様による御祝儀舞「老松」の舞踊で始まり、文化協会の記念事業にふさわしい開会であったと好評でした。

庄原市文化協会の創立40周年記念事業を兼ねているとあって、会員が何としても会場を満席にし、盛大な講演会にしようとの思いで、入場券の販売に一致協力して取り組みました。お陰で、庄原市民会館の800席がほぼ満席となり、講演内容も満足いただけて、成功裏に終わることができ、ありがたく感謝しています。

これを機に、さらに会員が一体となりまして文化活動を続け、広島県の文化の発展の一端を担ってまいりたいと思います。



### 4. 後援事業

◆平成22年度の後援事業は次のとおりです。

事業名	開催期間・場所	主催者
第43回中国幼年美術夏季大学	H22. 8. 20(金)～21(土) 国民宿舎 みやじま「杜の宿」	中国幼年美術の会
竹原支部創立45周年記念 一生流いけばな展	H23. 3. 12(土)～13(日) たけはら美術館	一生流竹原支部
第28回芸術祭	H23. 3. 13(日) 安芸府中生涯学習センター	あきふちゅう文化協会

#### 中国・四国文化団体連絡会議

中国・四国ブロック県文化団体連絡会議が、平成22年11月6日(土)に岡山県岡山市において開催されました。社団法人岡山県文化団体連盟会長あいさつの後、議題に入り、各県文化団体の取り組み状況や抱えている問題等を意見交換しました。

中四国から13名が参加し、当連合会からは会長と事務局が出席しました。

## 5. 共催事業（けんみん文化祭ひろしま）

### ◆けんみん文化祭ひろしま'10 開催結果

#### (1)分野別フェスティバル

事業名	出演団体数	観客数	表彰団体	
開会式・ 民謡民舞の祭典 9月19日(日) 三原市芸術文化センター (1,209席)	30団体 (325人)	1,000人	最優秀団体 音戸の舟唄保存会(呉市) 優秀団体 本篠流民謡さざなみ会(福山市) 優秀団体 広恵会三原教室(三原市) 優秀団体 宍戸一門みすみ会(福山市)	
芸能・銭太鼓の祭典 10月3日(日) 安芸高田市民文化センター (735席)	25団体 (282人)	1,000人	芸能	奨励賞 まだまだ輪っ会連(北広島町) 奨励賞 琉球創作エイサー 龍和(広島市) 奨励賞 琉球國祭り太鼓 広島支部(三次市)
			銭太鼓	最優秀団体 宮坂流津山銭太鼓保存会高屋支部 (東広島市) 優秀団体 わかば会(世羅町) 優秀団体 銭太鼓高杉会(三次市)
大正琴・新舞踊の祭典 10月3日(日) 熊野町民会館 (308席)	21団体 (183人)	700人	大正琴	最優秀団体 琴城流 西城琴音会(庄原市) 優秀団体 大正琴 琴成流(福山市) 優秀団体 山川流大正琴 琴鶴千幸会(熊野町)
			新舞踊	最優秀団体 華扇会(三原市) 優秀団体 藤桂会 小田支部(東広島市) 優秀団体 寿々節翠会(広島市)
和太鼓フェスティバル 10月3日(日) 三次市文化会館 (1,218席)	22団体 (305人)	900人	小中学生	最優秀団体 海田鼓童子(海田町) 優秀団体 竹原市立仁賀小学校(竹原市) 優秀団体 宇品みなと太鼓(広島市)
			一般	最優秀団体 三次童心太鼓(三次市) 優秀団体 福山達磨太鼓 有磨鼓遊会(福山市) 優秀団体 三次太鼓育成会(三次市)
邦楽・日本舞踊の祭典 10月24日(日) 坂町町民センター (500席)	17団体 (167人)	622人	邦楽	最優秀団体 呉三曲会(呉市) 優秀団体 邦楽グループ KAMO(東広島市)
			日舞	最優秀団体 藤間流藤間寿三豊会(東広島市) 優秀団体 芳柳流寿々節翠会(広島市)
洋舞フェスティバル 11月7日(日) さんわ総合センター (400席)	8団体 (89人)	472人	最優秀団体 社団法人日本バレエ協会中国支部(広島市) 優秀団体 石原バレエアカデミー(呉市) 優秀団体 福山バレエアカデミー(福山市)	
ミュージック フェスティバル 11月28日(日) 福山市神辺文化会館 (850席)	21団体 (551人)	1,100人	合唱	最優秀団体 男声合唱団コール・フロイデ(福山市) 優秀団体 尾道フラウエンコール(尾道市) 優秀団体 カトレア コーラス(江田島市)
			洋楽	最優秀団体 広島文教女子大学・広島文教女子大学付 属高等学校 吹奏楽部(広島市) 優秀団体 フルートアンサンブル Erieku(広島市) 優秀団体 山陽女学園中等部高等部 管弦学部 (廿日市市)
吟詠剣詩舞道祭 12月5日(日) 尾道市民センターむいかいしま (400席)	14団体 (174人)	400人	最優秀団体 吟詠宝山流総本部(呉市) 優秀団体 水真流九嶺吟詠会(呉市) 優秀団体 愛峰流東広島・日東流吟剣詩舞(東広島市) 優秀団体 晴峯流あけぼの吟詠会 佐伯支部(廿日市市)	

事業名		出品者数	入場者数	表彰団体		
【展示部門】 華・花フェスティバル 10月29日(金)～31日(日) 呉市体育館(呉市文化団体連合会 第35回「総合展」と同時開催)		448人	9,833人			
事業名	部門	応募者数	入場者数	入賞及び入選者数		
文芸祭合同大会 12月19日(日) 広島市まちづくり市 民交流プラザ (180席)	短歌	一般 小中高 343人 1,725人	200人	一般	入賞 8人	入選 75人
				小中高	入賞 8人	入選 75人
	俳句	一般 小中高 450人 2,998人		一般	入賞 8人	入選 75人
				小中高	入賞 8人	入選 75人
	現代詩	一般 小中高 69人 256人	一般	入賞 8人	入選 5人	
			小中高	入賞 8人	入選 9人	
	川柳	高校・一般 小中 283人 1,004人	高校・一般	入賞 8人	入選 50人	
			小中	入賞 8人	入選 35人	

## (2) 地区フェスティバル

地区名	大会名称	期日・場所	入場者数	出演団体数
西部	第21回けんみん文化祭 西部地区フェスティバル	平成23年3月6日(日)	650人	23 (250人)
		はつかいち文化ホールさくらびあ		
呉・安芸	平成22年度けんみん文化祭 第21回呉・安芸地区フェスティバル	平成23年2月20日(日)	1,200人	41 (468人)
		熊野町民会館		
芸北	けんみん文化祭ひろしま'10芸北地 区フェスティバル(安芸高田会場)	平成22年11月28日(日)	1,008人	38 (346人)
		安芸高田市民文化センター		
	けんみん文化祭ひろしま'10芸北地 区フェスティバル(山県会場)	平成23年3月13日(日)	450人	20 (155人)
		芸北文化ホール		
東広島	けんみん文化祭'10東広島 地区フェスティバル	平成22年9月23日(木・祝)	600人	29 (257人)
		東広島市豊栄文化センター		
尾三	第21回けんみん文化祭 尾三地区総合文化祭	平成23年2月6日(日)	700人	15 (190人)
		三原市芸術文化センター		
		平成23年2月20日(日)	450人	20 (140人)
		尾道市民センターむいかいしま		
	平成23年2月27日(日)	1,300人	24 (630人)	
しまなみ交流館				
福山	けんみん文化祭ひろしま'10 福山地区フェスティバル	平成23年2月6日(日)	580人	26 (215人)
		福山市沼隈サンパル		
備北	第21回けんみん文化祭 備北地区フェスティバル	平成23年3月6日(日)	800人	32 (302人)
		三次市文化会館		

### ●「けんみん文化祭ひろしま」とは

広島県の文化の発展、継承、育成を図るとともに、新たなひろしま文化の創造を目指し、喜びと感動をわかちあうことのできる県民の祭として開催しています。

- 主な事業
- ・総合フェスティバル(テーマを定め、より芸術性の高い事業を開催)
  - ・分野別フェスティバル(舞台発表や作品発表などを県内各地で開催)
  - ・地区フェスティバル(県内7地区で開催し、地域の人々が参加)
  - ・国民文化祭への県代表の推薦(分野別フェスティバルの優秀団体を、広島県に対し推薦する。)

主催：けんみん文化祭ひろしま実行委員会(会長 広島県知事、副会長 広島県市長会会長、副会長 広島県町村会会長、副会長 広島県文化団体連合会会長(平成23年3月31日現在))

事務局所在地：〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県環境県民局文化芸術課内

※総合フェスティバルは隔年開催に変更になりましたので、今年度は開催されませんでした。

## ■けんみん文化祭ひろしま開催状況

### 【総合フェスティバル開催状況】

	開催期日	上演時間等	会場名	収容者数 (人)	入場者数 (人)	参加団体 参加者数
第1回 (平成3年度)	平成3年9月6日(金)	13:00~14:00(セレモニー)	県民文化センター	540	485	14
		14:00~15:30				150
第2回 (平成4年度)	平成4年9月11日(金)	13:00~14:00(セレモニー)	アステールプラザ	1,204	800	13
		14:00~15:30				175
第3回 (平成5年度)	平成5年9月10日(金)	13:00~14:00(セレモニー)	アステールプラザ	1,204	1,100	10
		14:00~15:20				172
第4回 (平成6年度)	平成6年9月9日(金)	13:00~14:00(セレモニー)	アステールプラザ	1,204	900	26
		14:00~15:30				418
第5回 (平成7年度)	平成7年9月8日(金)	13:00~14:00(セレモニー)	アステールプラザ	1,204	900	(不明)
		14:00~15:30				
第6回 (平成8年度)	平成8年10月11日(金)	18:00~20:30	広島郵便貯金ホール	1,861	1,500	20 207
第7回 (平成9年度)	平成9年9月6日(土)	14:00~14:30(セレモニー)	アステールプラザ	1,204	950	9
		14:30~16:00				150
第8回 (平成10年度)	平成10年10月9日(金)	18:30~20:45 (セレモニー含む)	ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ	2,003	1,200	12 243
第9回 (平成11年度)	平成11年10月11日(振休)	17:30~20:00	広島厚生年金会館	2,001	1,447	14 258
第10回 (平成13年度)	平成13年11月25日(日)	14:00~16:40	アステールプラザ	1,204	1,200	20 466
第11回 (平成14年度)	平成14年11月10日(日)	14:00~16:30	はつかいち文化ホール さくらびあ	1,095	1,100	9 253
第12回 (平成15年度)	平成15年9月28日(日)	13:30~16:00	呉市文化ホール	1,612	1,350	13 316
第13回 (平成16年度)	平成16年9月26日(日)	13:30~16:00	ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ	2,003	2,003	20 550
第14回 (平成17年度)	平成17年10月1日(土) 2日(日)	10:00~17:00 (食の祭典)	広島県立みよし公園 カルチャーセンター	-	14,500	23
	平成17年10月2日(日)	13:30~17:00 (閉会式・神楽大会)		3,000		561
第15回 (平成18年度)	平成18年9月30日(土)	15:00~17:40	しまなみ交流館	690	800	9 290
第16回 (平成19年度)	平成19年9月30日(日)	13:30~16:50	ALSOKホール (旧広島郵便貯金ホール)	1,730	1,500	11 251

※平成12年度は、国民文化祭を開催



「子ども文化フェスティバル」に衣替え

第17回 (平成20年度)	平成20年11月23日(日)	13:30~16:30	ALSOKホール	1,730	1,000	8
						236
第18回 (平成21年度)	平成21年10月4日(日)	13:30~16:00	ALSOKホール	1,730	1,000	8
						339



隔年開催に変更

第19回(平成23年度開催予定)

【ギャラリー】



県民文化祭シンボルマーク



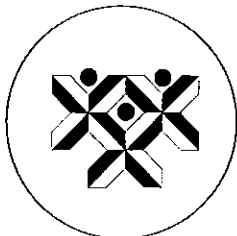
第2回県民文化祭記録集



第5回県民文化祭(ひろしまの文化第13号より)



第10回 けんみん文化祭2001(記録集より)



国民文化祭シンボルマーク



第15回 国民文化祭・ひろしま2000総合プログラム



けんみん文化祭マスコット  
キャラクター ブンカッキー



第15回 国民文化祭・ひろしま2000



第15回 けんみん文化祭2005(記録集より)



## ■広島文化賞の紹介

心豊かなうるおいのある地域社会の創造に寄与するため、地域文化の向上、普及に貢献した個人や団体を表彰する公益財団法人ひろしま文化振興財団の「第31回広島文化賞」の贈呈式が平成22年11月22日（月）広島市中区の鯉城会館において行われ、次の方が受賞されました。

### 個人の部



奥山 民枝  
(尾道市：美術・油彩画)

初期作品から一貫して自然の中に潜む生命力やエロティシズムに着目し、山・雲・太陽などのモチーフを描き続け、自然の存在の神秘や宇宙の根源の真理に迫る特異なヴィジョンを進化させている。

また、特に会派に属さず、20代から欧州・中近東・南米など世界各地を旅し、そこで得た感銘や自身の宇宙観を軸に、独自の技法と題材で「いのち」に対する感動や神秘を油彩画に表現してきた。

平成4年には『山夢』で第35回「安井賞」を受賞。

平成17年に尾道大学芸術文化学部教授に就任後は、後進の指導のほか、「絵のまち尾道」の活動などに貢献している。



安達 春汀  
(広島市：美術・刻字)

幼少期より書道を学び、18歳で号「春汀」を受け活動を開始。昭和46年に香川峰雲氏に「刻字」を師事し、以来幅広い活動を続けている。広島における「刻字」の草分け的存在である。

「毎日書道展」入賞・入選19回、「書道芸術院展」秀作賞受賞10回、そのほか「瀬戸大橋書道展」内閣総理大臣賞などを受賞。

広島・福山・日本橋三越などで個展を度々開催し、海外でもフランス・ドイツ・ハンガリー・ベルギー・中国への出展、講座開講などを通じて国際交流を積極的に行うなど、刻字分野の第一人者として多彩な活動を続けている。

また、その傍ら、後進の育成やボランティア的活動にも尽力している。

### 団体の部



福山城博物館友の会  
(福山市：地域文化)

昭和42年に設立し、現在 構成員 200 人、活動歴 43 年。福山城博物館の事業への協力として、展覧会記念講演会の開催が通算 75 回を数えるなど、多くの講演会・講座を開催し、来場者に好評を得ている。

また、郷土に残る古文書の解説という地道な活動を行い、その調査記録は現在まで 27 集を発刊しており、なかでも『郷賢録』や『福山の古写真集』などは歴史的資料としても貴重なものとなっている。

更には、平成8年から実施している史跡めぐりの実施や史跡ガイド地図『福山再発見シリーズ』の作成に取り組み、郷土文化の振興に大いに寄与している。

## ■広島県地域文化功労者表彰の紹介

広島県の多彩な豊かさと活力の創造に寄与することを目的に、地域交流・国際交流の推進、教育・学術・文化の振興、伝統的産業、風習の保存研究等に功労があった団体と個人を表彰する「広島県地域文化功労者表彰」が平成23年1月13日（木）広島県庁において行われ、平成22年度は次の方が受賞されました。



左から 小奴可地区芸能保存会 会長 高尾覚さん、  
広島県神楽競演大会実行委員会 会長 田中地英記さん、  
湯崎知事、田中蘆雪さん、藤賀醇子さん、山本定男さん

### 団体の部

#### ●小奴可地区芸能保存会

（昭和28年設立 庄原市：塩原の大山供養田植の保存・継承）

国指定重要無形民俗文化財である「塩原の大山供養田植」を保存・継承するため、小中学校での伝承教室の開催や定期的な現地公開など、地域文化の振興に貢献した。

#### ●広島県神楽競演大会実行委員会

（昭和45年設立 広島市：神楽の保存・普及）

郷土芸能である神楽の競演大会を毎年継続して実施するなど、神楽の保存と普及に取り組むなど、地域文化の振興に貢献した。

### 個人の部

#### ●田中蘆雪（福山市：書道）

書道家として長年精進し、書の交流を通じて国内外に書道文化の輪を広げるとともに、地域での社会貢献に取り組むなど、地域文化の振興に貢献した。

#### ●藤賀醇子（呉市：音楽）

声楽家として長きにわたり演奏活動を行いながら、多くの音楽家を育成する一方、音楽を通じた国際交流や地域での社会貢献に取り組むなど、地域文化の振興に貢献した。

#### ●山本定男（広島市：音楽）

合唱団・合唱連盟活動において多年にわたり従事するとともに、新たな合唱団の設立に尽力するなど、音楽の普及と発展向上に努めた。

# ■広島県文化団体連合会構成団体一覧表・役員一覧

平成23年3月31日(23団体)

地区	団体名	代表者氏名	郵便番号	所在地	事務局	電話
西部	大竹市文化協会	村中 勝 榮	739-0653	大竹市黒川3丁目4-14	村中 勝榮方	0827-57-4625
	廿日市市文化協会	重本 繁 行	738-0014	廿日市市住吉2丁目2-16	廿日市市市民活動センター内	0829-31-4311
	湯来町文化連盟	新川 日出男	738-0601	広島市佐伯区湯来町和田515	国沢紀代子方	0829-83-0146
呉・安芸	呉市文化団体連合会	槇 坪 一 誠	737-8509	呉市中央6丁目2-9 つばき会館	呉市教育委員会文化振興課文化係内	0823-25-3462
	あきふちゅう文化協会	久保本 寂	735-0006	安芸郡府中町本町1丁目10-15	府中町教育委員会社会教育課内	082-286-3272
	海田町民文化振興会	吉本 知 可	736-8601	安芸郡海田町上市14-18	海田町教育委員会内	082-823-9217
	熊野町文化団体連絡協議会	山 野 千 佳 子	731-4292	安芸郡熊野町中溝1丁目1-1	熊野町教育委員会内	082-820-5621
	坂町文化協会	林 昭 治	731-4393	安芸郡坂町平成ヶ浜1丁目1-1	町民センター内	082-820-1515
	江田島市文化協会	三 戸 義 明	737-2213	江田島市大柿町大原505番地	江田島市教育委員会内	0823-40-3037
東広島 1	東広島市文化連盟	武 則 武	739-0024	東広島市西条町御嶺守2618-3	武則 武方	082-424-1047
芸 北	安芸太田町文化団体連合会	益 田 藤 子	731-3501	山県郡安芸太田町加計5908-2	安芸太田町教育委員会内	0826-22-1212
	北広島町文化団体連合会	中 祖 岩 雄	731-1533	山県郡北広島町有田1220-1	北広島町教育委員会 千代田中央公民館内	0826-72-2249
	安芸高田市文化団体連合会	土 本 義 雄	731-0501	安芸高田市吉田町吉田761	安芸高田市市民文化センター内	0826-42-5629
尾 三	竹原市文化団体連盟	安 田 克 樹	725-0022	竹原市本町1日2-6 すみれドレスメーカー内	大歳英子方	0846-22-2037
	三原市文化協会	勝 村 善 博	723-8601	三原市港町3丁目5-1	三原市経済部観光文化課内	0848-67-6015
	尾道市文化協会	吉 村 功	722-8501	尾道市久保1丁目15-1	尾道市教育委員会文化振興課内	0848-25-7366
	大崎上島町文化協会	高 橋 正 裕	725-0301	豊田郡大崎上島町中野2067-5	大崎上島町教育委員会社会教育課内	0846-64-3055
	世羅町文化協会	仙 光 保 喜	722-1111	世羅郡世羅町寺町1158-3	世羅町教育委員会内	0847-22-4411
福 山	福山文化連盟	土 肥 勲	720-0812	福山市霞町1丁目10-1 まなびの館ローズコム	福山市生涯学習プラザ内	084-931-6753
	府中文化連盟	神 田 知 道	726-0005	府中市府中町27-1	府中市教育委員会生涯学習課内	0847-43-7181
	3 神石高原町文化連盟	村 上 克 朗	720-1522	神石郡神石高原町小島2025		0847-89-3344
備 北	三次市文化連盟	伊 藤 正 壯	728-0021	三次市三次町1691-4	三次市文化会館内	0824-63-6335
	2 庄原市文化協会	池 本 旭	727-0013	庄原市西本町2丁目17-15	庄原市民会館内	0824-72-5453

## 役員一覧

職名	氏名	出身団体における職名
顧問	谷口 芳 松	おおの文化協会顧問
	平井 隆 夫	福山文化連盟名誉会長
会 長	槇 坪 一 誠	呉市文化団体連合会会長
副会長	重本 繁 行	廿日市市文化協会会長
	池 本 旭	庄原市文化協会会長
幹 事	土 肥 勲	福山文化連盟会長
	吉 村 功	尾道市文化協会会長代行
監 事	武 則 武	東広島市文化連盟会長
	土 本 義 雄	安芸高田市文化団体連合会会長

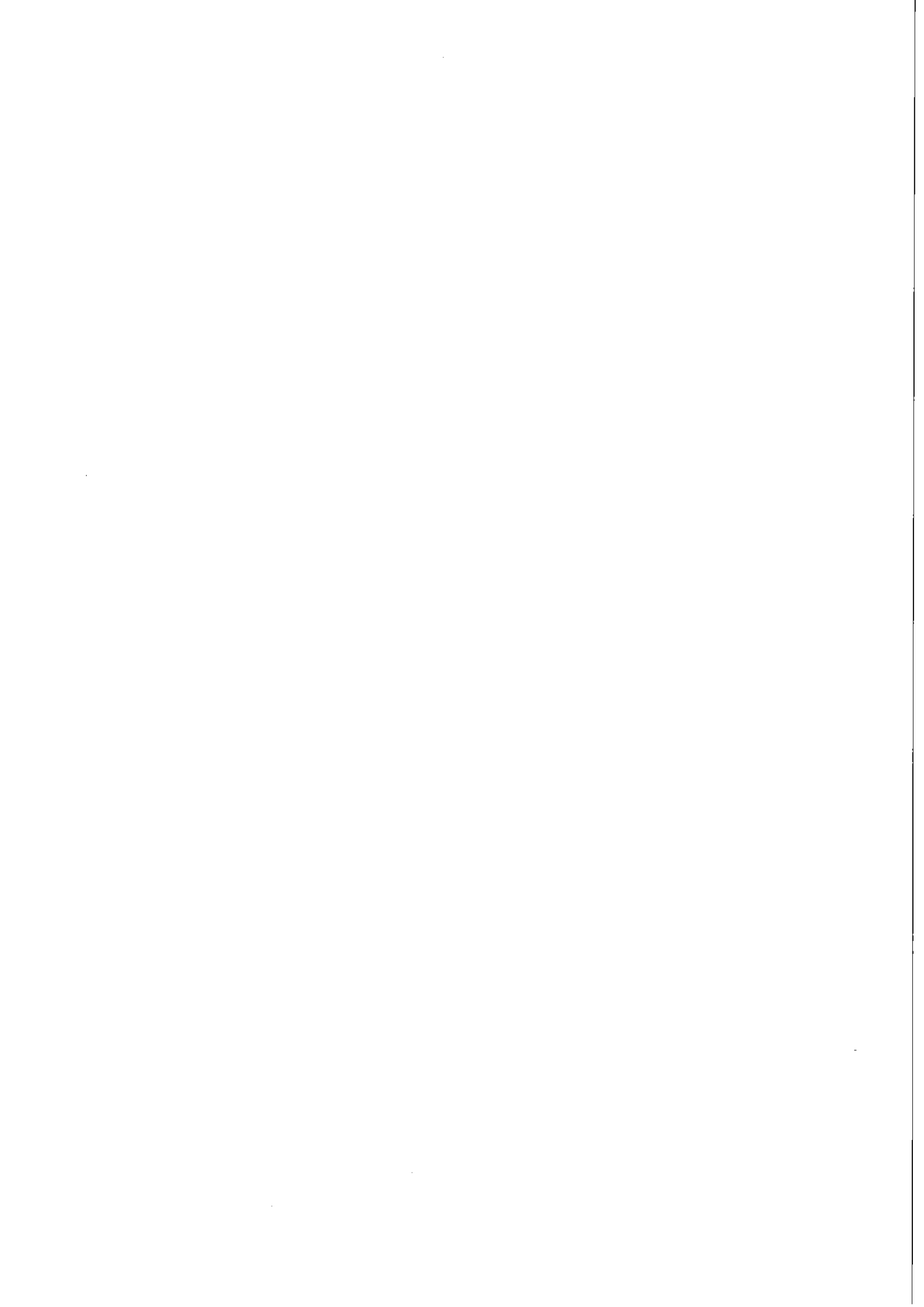
※顧問を除く役員については、就任当時の職名

## 編集後記

平成23年2月に広島県文化団体連合会が、創立30周年を迎えることができましたのも、会員皆様のたゆまぬ努力の賜物でございます。今後さらなる発展を期待し、事務局一同も、微力ながら力を尽くして参りたいと思います。

今回、「ひろしまの文化」第28・29号を合併号とし、創立30周年記念誌として無事発行することができましたのも、皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

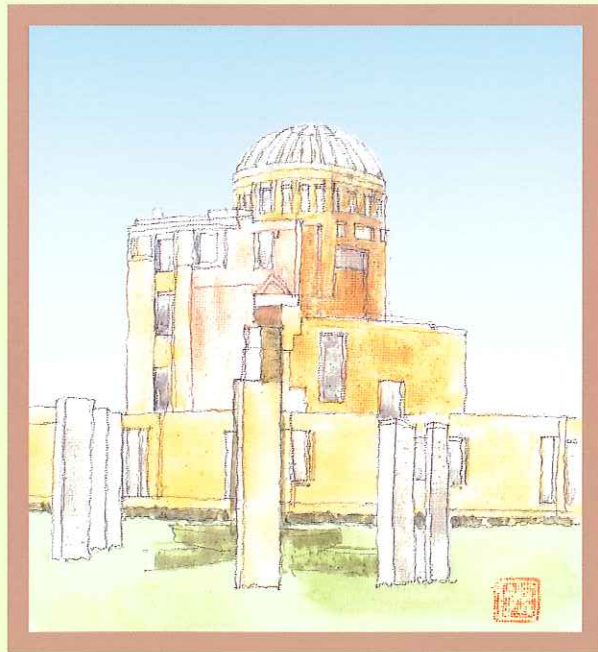


広島県文化団体連合会 創立 30 周年記念誌  
ひろしまの文化 第 28・29 号

編集・発行 平成 23 年 6 月

広島県文化団体連合会  
〒730-0051 広島市中区大手町 1-5-3  
広島県民文化センター2 階  
公益財団法人ひろしま文化振興財団内  
TEL(082)249-8385

印 刷 シゲモト印刷



原爆ドーム